

2011年度

環境報告書



【 目 次 】

第1章 巻頭辞と概況

- (1) 巻頭辞…………… P. 1
- (2) 基本的要件と事業の概況…………… P. 2

第2章 環境方針・目標・実績等の総括

- (1) 医療生協さいたまの環境方針…………… P. 5
- (2) 2011年度の目的・目標と実績等の総括…………… P. 6
- (3) インプットとアウトプット…………… P. 8

第3章 環境マネジメントの状況

- (1) 環境マネジメントシステムの状況…………… P. 9
- (2) サプライチェーンマネジメントの状況…………… P. 15
- (3) 情報開示と環境コミュニケーション…………… P. 16
- (4) 環境法規制順守の取り組み…………… P. 17
- (5) 緊急事態対応訓練の概要…………… P. 18

第4章 環境活動に伴う環境負荷及びその低減に向けた取り組みの状況

- (1) エネルギー使用量の削減…………… P. 19
- (2) 紙使用量の削減と再生紙の使用促進…………… P. 24
- (3) 廃棄物の削減と適正な処理…………… P. 27
- (4) 環境負荷を軽減する活動の促進…………… P. 31
- (5) 環境に配慮したまちづくりに参加する…………… P. 32
- (6) もっとも愚かな環境破壊である戦争につながる
行為に反対し、平和を守る…… P. 35
- (7) 原発ゼロを求める活動をすすめます…………… P. 36



第1章 巻頭辞と概況

(1) 巻頭辞

「環境をめぐる新たな課題」

地球規模の異常気象と温暖化が進行しています。これらは私たちにとって生きていくうえでの最大の脅威になります。大量生産、大量消費の時代の思想から早く脱出しないと途方もなく悲惨な将来が待っています。これは、「より知的」で「よりものを大事にしていく」姿勢で自然と向き合わないといけないことを要求しています。

一方では私たちの生活の破壊も進んでいます。経済的に追い詰められ基本的な生活そのものができなくなっている国民が増加しています。これにT P Pや消費税が追い打ちをかけようとしています。国民だけでなく、中小企業や私たち医療機関も存在が危うくなります。

これは経済格差が健康格差を増大させていくことになり、日本国憲法を真向から破壊していく暴挙になります。安定した人間らしい生活が保障されてこそ「生活環境が確保された」ことになるでしょう。

大震災の復興が緒についたばかりなのに、エネルギー政策の見直しもなく原発に寄り添う危険な状態が続いています。決して原発の再稼働を許してはならず、廃炉にしていく闘争と国民的合意を急がなくてはなりません。

生活を脅かす福島第一原発事故への対応はこれからが「正念場」です。「元の生活」と健康が保障され、再び事故を起こさない担保が確認されるまでの「被ばく」対策の長い目での取り組みが必要です。除染をすすめ、元の居住地への復帰は避難されている方たちの人間としての生活を保障していくうえで早期に実現していかななくてはなりません。しかし、事故でばらまかれた、「黒い物質」と言われているセシウムの濃縮物が、高い放射線を局所的にまき散らし、「体内被ばく」の原因になっていくであろうことが指摘されています。高濃度・低濃度にかかわらず、持続的な「被ばく」可能性に注意していく必要があります。

今後の自然災害への取り組みと備えは自治体も私たちも後手になっています。起きてから「想定外」と言い訳をしてはなりません。今回の災害と事故は法人的に取り組む課題も明示しています。危機管理の改善と配慮の大事さを教えてくれました。しっかりと取り組みたいと思います。

さて、この一年、法人内だけでなく地域の人たちとも手を取り合って、さまざまな取り組みが行われてきました。放射線量の定期的測定と除染の運動化の取り組みも持続されています。さまざまな環境因子・一酸化炭素測定も大事です。目に見え、役に立つ節電やエコの取り組みの一環として緑化推進、清掃美化、緑のカーテンの取り組みなどが日常の中に取り入れられようとしています。

法人的には、このところの異常気象もあってか、取り組んでいるCO₂排出量がジワリと増加しています。節電の取り組みは持続されており、電気の使用量は減少しています。できることを拡大し日常化して取り組みましょう。

私たちの生活とこれからも生きていく地球のために！

2012年9月1日

医療生協さいたま生活協同組合
理事長 神谷 稔



(2) 基本的要件（対象組織・期間・分野）と事業の概況

① 基本的要件（対象組織・期間・分野）

対象組織：医療生協さいたま全体

対象期間：2011年度（2011年4月1日～2012年3月31日）

対象分野：医療生協さいたまの全事業（保健医療事業、介護事業、配置薬事業、組合員対象サービス事業）

② 事業の概況（2012年3月末現在）

名称：医療生協さいたま生活協同組合

本部所在地：川口市木曾呂1317番地

代表者：理事長 神谷 稔

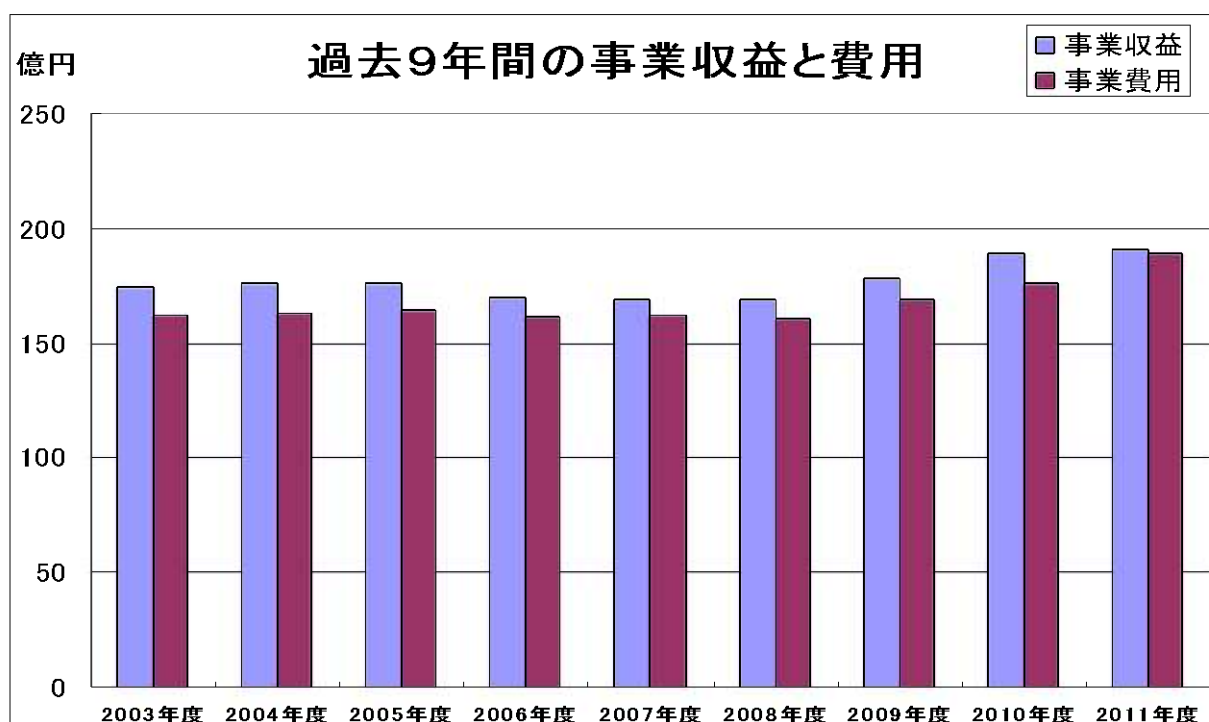
出資金：61億8千万円

事業収益：約191億円

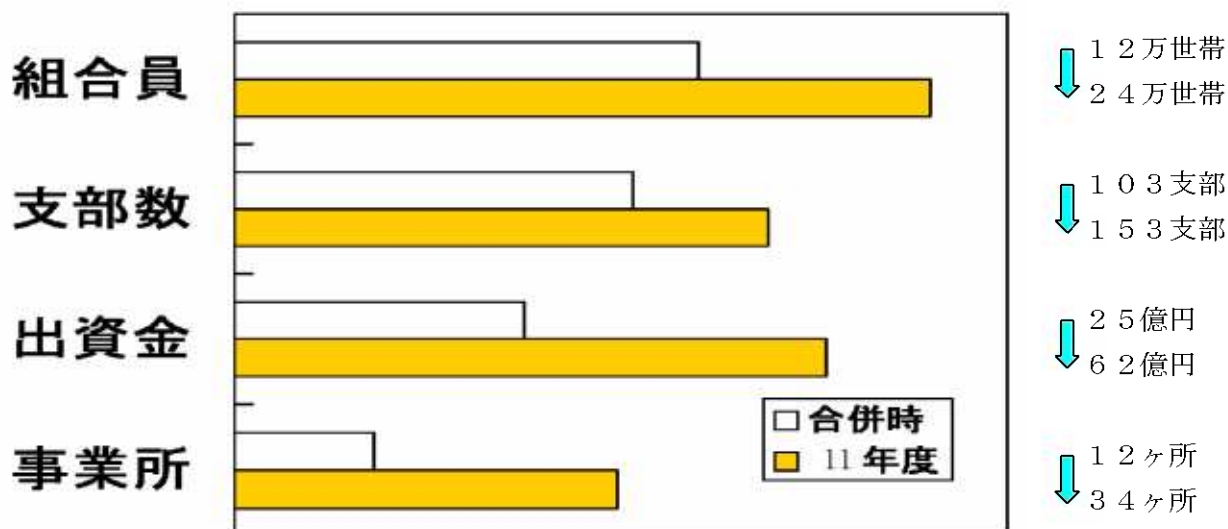
職員数：常勤職員1,252人、非常勤職員766人（常勤換算）

事業内容：保健・医療事業、介護事業、配置薬事業、組合員対象サービス事業

事業所：4病院（一般病床536床、療養型病床95床）、9医科診療所、2歯科診療所、2老人保健施設（入所定員200人）、17訪問系介護事業所、配置薬事業、本部



医療生協合併時（1992年）から現在までの19年間の変化

[illegible]

④ サイトにおける業務一覧

サイト No	サイト名	各サイトの業務一覧			
		外来診療	病棟診療	その他	介護事業
1	埼玉協同病院	内科、消化器、循環器、呼吸器、小児科、外科、整形外科、皮膚科、脳神経科、産婦人科、麻酔科、放射線科、眼科、耳鼻科、精神科、リハビリ科、泌尿器科、神経内科	8病棟 401床		訪問リハビリ
2	埼玉百協同病院	内科、外科、 循環器内科 、眼科	1病棟50床	各種健康診断	通所リハビリ
3	熊谷生協病院	内科、小児科	2病棟 105床	各種健康診断	通所リハビリ、療養型病床、短期入所
4	秩父生協病院	内科、小児科、循環器科、消化器科、リハビリ理学療法科	2病棟 75床	各種健康診断	通所リハビリ、療養型病床、短期入所
5	老人保健施設みぬま				入所、短期入所、通所リハビリ、 訪問リハビリ
6	老人保健施設さんどめ(ケアセンターとみおかきむ)				入所、短期入所、通所リハビリ、訪問リハビリ、居宅介護支援
7	川口診療所	内科		各種健康診断	通所リハビリ、訪問リハビリ
8	さいわい診療所	内科		各種健康診断	
9	浦和民主診療所	内科、循環器科、消化器科		各種健康診断	
10	おおみや診療所	内科		各種健康診断	
11	かすかべ生協診療所	内科		各種健康診断	通所リハビリ
12	大井協同診療所	内科、小児科		各種健康診断	通所介護、訪問リハビリ
13	上福岡協同診療所	内科		各種健康診断	
14	所沢診療所	内科、循環器内科		各種健康診断	
15	行田協立診療所	内科、歯科		各種健康診断	通所介護
16	生協歯科	歯科、小児歯科、矯正歯科			
17	あさか虹の歯科	歯科、小児歯科、矯正歯科			
18	ケアステーションかしの木				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
19	ケアセンターきょうどう				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
20	ケアセンターかがやき				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援、通所介護
21	医療生協ケアセンターわかき				訪問介護、居宅介護支援
22	医療生協ケアステーションうらしん				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援、通所介護
23	ケアセンターかもがわ				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
24	医療生協おおみやケアセンター				訪問介護、居宅介護支援、通所介護
25	医療生協ケアセンターひだまり				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
26	生協ケアセンターたかしな				訪問介護、居宅介護支援
27	ケアセンターふじみ野				訪問介護、居宅介護支援
28	ケアセンターとこしん				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
29	ケアセンターはんのう				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
30	熊谷生協ケアセンター				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
31	生協ま沼介護センター				訪問介護
32	生協介護センターこだま				訪問介護、居宅介護支援
33	医療生協ケアセンターさきたま				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
34	生協ちちぶケアステーション				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
35	生協ながとろケアステーション				訪問介護
36	本部事務局			法人事務業務 組合員対象サービス	
37	配薬センター			配薬サービス	

第2章 環境方針・目標・実績等の総括

(1) 医療生協さいたまの環境方針

ISO14001 環境方針

地球環境の保全と創造は、21世紀の人類共通の課題であり、私たちひとりひとり（組合員・職員）にとっても、事業者（医療生協さいたま）にとっても、避けて通れない課題となっています。

医療生協さいたまは、「健康な暮らし、明るいまち、生きいき医療生協」をめざし、埼玉県全域で医療・介護のサービスを展開する事業者として、地球環境に配慮した活動を積極的にすすめます。

医療生協さいたまは、大規模な開発による環境破壊や排気ガスによる大気汚染、原発による人体と環境への放射能汚染、そしてもっとも愚かな環境破壊である戦争行為に反対し、いのちと平和をまもり環境を保全する活動にとりくみます。

医療生協さいたまの職員は、毎日の仕事（事業活動・サービス）を通じて、環境の改善及び汚染予防、環境マネジメントの継続的向上をはかり、環境関連の法律や規制、協定を遵守します。

- 1、医療生協さいたまは、環境保全、環境負荷軽減のために以下の事項に積極的に取り組みます。
 - ①電力等、エネルギー使用量を削減します。
 - ②紙使用量を削減するとともに、再生紙の使用を広げます。
 - ③医療材料等の使用にあたって、環境負荷の少ない製品を積極的に選択します。
 - ④廃棄物の適正な処理と削減をはかります。
 - ⑤エネルギー消費や自動車の使用に伴って発生する二酸化炭素、窒素酸化物の削減に取り組みます。
 - ⑥環境に配慮したまちづくりに参加します。
 - ⑦原発ゼロを求める活動をすすめます。
- 2、医療生協さいたまは、各事業所及び生協本部において、環境目的と目標を設定し、環境マネジメントシステムを継続的に見直し、業務の改革につなげます。環境方針及び目標達成の課程と成果は全職員に周知します。
- 3、医療生協さいたまは、この環境方針を、印刷物やホームページ等を通じて広く一般に公表します。

制定日 2004年9月1日

改訂日 2011年7月27日

医療生協さいたま生活協同組合
理事長 神谷 稔

(2) 2011 年度の目的・目標と実績等の総括

① 環境目的・目標一覧表

NO	環境目的(到達点)	環境目標	事業所															目的・目標根拠		
			埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	環境方針	法規制	利害関係
1	CO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量を、2010年度の96%以下に削減、とりわけ電気使用量を2010年度の90%以下に削減	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		夏、冬のエコライフDAYに、それぞれ職員1,500名以上、組合員500名以上が参加	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
2	紙使用量の削減と再生紙の使用促進	紙使用量(購入枚数)を、2008年度の98%以下に削減し、色紙比率を落とす	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
3	廃棄物の削減と適正な処理	紙類の回収、再資源化の徹底	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
		感染性廃棄物を2010年度以下に削減	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
4	環境負荷を軽減する活動の促進	業務改善・工夫による資源(医療材料)の抑制	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
		環境負荷の少ない製品の積極的選択	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
5	環境に配慮したまちづくりに参加する	NO ₂ の測定を広げるなど、組合員と協同して、健康にらせる環境づくりに取り組む	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
		周辺環境整備や緑化の推進に取り組む	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
		エコキャップ、マイカップ運動などエコ活動を普及する	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
6	もっとも悪質な環境破壊である戦争につながる行為に反対し、平和を守る	組合員と共に、「憲法9条」を大切にしたい平和活動を広げる	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
7	原発ゼロを求める活動をすすめる	原発ゼロを目指す企画に取り組み、原発ゼロ署名を広げる	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇

◎は事業所目標に設定 ◇は環境方針を具体化し(環境活動関連規程等)実施



② 環境管理進捗表

【環境目的・目標達成度を示す情報】

パフォーマンス 2011 年度 実績値（4～ 3月）	電気使用量（2010 年度比）90.7%、ガス使用量（〃）91.4%、水道使用量（〃）103.0%、灯油（〃）116.6%、ガソリン使用量（〃）100.6%、紙（購入量）（〃）99.5%、CO ₂ 排出量（〃）100.8%となりました。 東日本大震災後の電力不足もあって、省エネに努めましたが、東京電力のCO ₂ 排出係数が上がった影響もあって、CO ₂ 排出量換算では100.8%と前年を0.8%上回りました。また、紙購入量では、99.5%で、前年度を0.5%下回っています。
事業所からの 報告等	・2011 年度の環境情報記録は 35 事業所から 497 件が寄せられましたが、昨年度は 594 件だったので、97 件ほど減っています。 ・引き続き周辺美化・緑化、紙削減、ゴミの減量化・有効活用等に取り組む事業所が増えてきていて、これらの活動が定着してきています。 ・引き続き全県的にエコキャップ運動が推進され、今年度だけで、5,623,600 個のキャップが集められましたが、前年度よりペースダウンしています。 ・昨年度に続いて、夏と冬のエコライフDAYにも取り組み、のべで 3,239 人分（職員 2,639 人分、組合員 600 人分）を集約しました。 ・緑のカーテンを育てている事業所が増加し、秩父市から表彰を受けました。 ・原発学習会や放射能測定等の活動に取り組んでいる報告が寄せられています。
その他の情報	・全事業所で環境側面（PFD）シートの見直しが実施されました。 ・2011 年 11 月の ISO 維持審査での不適合指摘は 1 件でしたが、環境に関わるものではありませんでした。 ・「環境活動月次報告」、「エコニュース」の発行を継続し、毎月出されています。 ・「2010 年度環境活動報告書」が作成され、配布されました。 ・第 9 回環境コンクールがCO₂ 削減をテーマに行われ、優秀事業所として、かすかべ生協診療所と浦和民主診療所が表彰されました。

【評価、コメント】

1、パフォーマンスは、項目別にみると電気、ガスでは対前年比で大きく下回りましたが、CO₂排出量換算では、東京電力のCO₂排出係数が上がった影響もあって、100.8%と前年度を0.8%上回りました。また、紙購入量では、99.5%で、前年度を0.5%下回りました。 2、周辺美化活動や緑化推進、紙削減、ゴミ減量化・有効活用等への継続的な取組を行う事業所が増加し、環境活動が定着しつつありますが、さらに全事業所へ普及展開していく必要があります。 3、省エネ法による、CO₂削減のための中長期計画に基づいて、今年度は埼玉協同病院で「熱源冷温水、冷却水各ポンプインバーター化」を実施し、効果が上がっています。 4、全県的に継続して「エコキャップ運動」に取り組んできましたが、昨年度に比べてペースダウンしています。今後の方向性も考えた検討が必要だと思われます。 5、全県で昨年度に続き、夏・冬のエコライフDAYへ取り組みましたが、電気ダイコンなど個人レベルでの環境活動への取り組みをさらに普及していく必要があると思われます。 6、今後、原発ゼロへの取り組みが重要な課題となってくると考えられます。その中で、全事業所をあげての節電対策の継続や放射能測定等の取り組みが必要となっています。

(3) インプットとアウトプット (2011 年度)

<インプット> (著しい環境側面)

*電気使用量 (9,671,035kw 時)

*燃料使用量

都市ガス (1,060,558 立方m)

L P G (34,008 立方m)

灯油 (37,624 L)

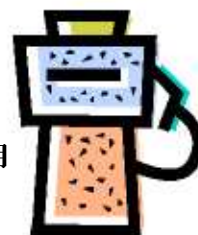


*自動車用燃料使用量

ガソリン (261,088 L)

*紙使用量 (13,706,500 枚)

*医療材料、衛生材料の使用



*保健医療サービス

●外来 ●入院 ●在宅 ●健診



*介護サービス

●訪問看護 ●訪問介護 ●居宅介護支援 ●通所リハビリテーション
●通所介護 ●訪問リハビリテーション ●老人保健施設入所
●療養型病床の入所 ●短期入所療養介護サービス



*配置薬事業サービス

*組合員対象サービス

●保健教室 ●くらしの学校 ●ヘルパー 2 級及び 3 級講座
●健康機材販売サービス ●組合員情報紙「けんこうと平和」発行サービス



<アウトプット> (著しい環境側面)

*感染性廃棄物 (385,885kg)

*二酸化炭素排出 (6,878,926kg)

*汚水、排水 (119,382 立方m)

*廃現像液 (40 L)



(良い環境側面)

*再生紙の使用

*植木、植栽、観葉植物

*リサイクル製品の利用



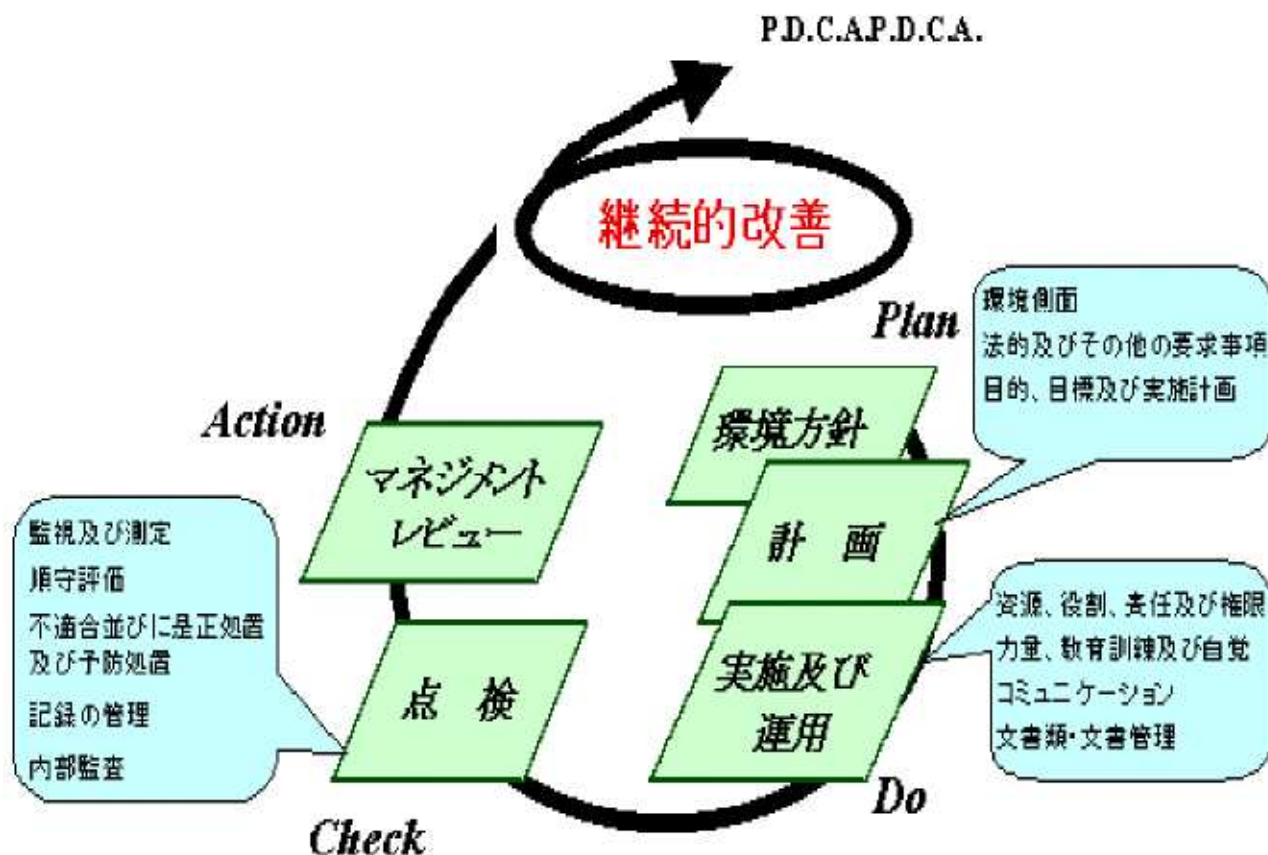
第3章 環境マネジメントシステム

(1) 環境マネジメントシステムの状況

① 環境マネジメントシステムの概要

「環境マネジメントシステム」とは、組織の活動によって生じる環境への負荷を常に低減するよう配慮・改善するための「組織的なしくみ」のことをいいます。

組織が自ら環境方針および目的を定め、その実現のための計画（Plan）を立て、それを実施及び運用（Do）し、その結果を点検及び是正（Check）し、さらに次のステップを目指した見直し（Act）を行うという PDCA サイクルを確立していきます。それによって、環境マネジメントシステムを継続的に向上させ、環境に与える有害な負荷を減少させることをねらいとしています。



<用語解説> I S O

ISO は、国際標準化機構（International Organization for Standardization）の略称で、各国の代表的標準化機関から成る国際標準化機関です。「民間自身が民間のために民間規格を作る機関」として 1947 年に設立され、本部はスイスのジュネーブにあります。設立の目的は、「商品とサービスの国際的な交換を容易にし、知識・科学・技術・経済に関する活動において、国際的な交流を助長するため、国際的な規模の標準化とこれに関するさまざまな活動を発展・促進すること」とされています。

この標準化機構が定めたものに、「ISO14001」（環境保護に関する目標を決めて取り組むもの）、「ISO9001」（一定水準のサービスを提供するために業務基準を整備してとりくむもの）などがあり、国際的な統一規格となりつつあります。

② 第3者評価の取得

ISO14001とは、国際標準化機構（ISOと略する）が発行した、環境マネジメントシステムの国際規格です。

医療生協さいたまでは、環境問題は人類共通の課題、避けて通れない課題と考えてきました。また、医療・介護事業、健康づくりやまちづくりを担う我々にとっても避けて通れない課題です。そこで、毎日の仕事を通じて改善を続けていく環境保全の水準として、**ISO14001**を2002年11月に取得しました。それ以外にも第3者評価の導入を積極的に進めてきました。以下にその経過を記します。

- ・1998年2月 埼玉協同病院 病院機能評価認定
- ・2002年6月 埼玉協同病院 ISO9001認証
- ・2002年11月 医療生協さいたま ISO14001認証
- ・2003年11月 医療生協さいたま ISO9001認証
- ・2004年11月 埼玉協同病院 ISO9001、医療生協さいたま ISO9001、
医療生協さいたま ISO14001の統合
- ・2005年7月 熊谷生協病院で病院機能評価認定
- ・2006年3月 医療生協さいたま全体でプライバシーマークの認定を取得
- ・2006年3月～5月 埼玉西協同病院、秩父生協病院で病院機能評価認定



環境問題とISO14001の認証取得について

2001年7月3日 本部役員会

1. 環境問題とは何か

①環境問題とは、人間による生産・消費活動が引き起こす地球環境の破壊によって生ずる種々の問題である。大規模な健康影響のみならず、人類の生存そのものを危うくするものとして、21世紀の世界的課題の一つである。

②その主なものは以下のとおり

- ・大気、海洋、水の汚染（道路公害、化学汚染、核実験による汚染等々）
- ・大気中の二酸化炭素等の増加による地球温暖化。
- ・温暖化の結果としての氷河の後退、異常気象、海水面の上昇など
- ・フロンガスの放出によるオゾン層の破壊
- ・野生生物の減少等の生態系の破壊



③近年、環境問題は深刻さを増しており、1992年の「環境と開発に関する国連会議」以降、人間活動のあらゆる分野について、環境保全の観点が求められている。

2. 医療生協の視点

①「自主的組合員活動と信頼される事業を通じてつくる健康な暮らし、明るいまち、生きいき医療生協」（第2次5か年計画メインテーマ）をかかげる医療生協にとっては、事業活動、組合員活動のいずれにおいても避けて通ることのできない課題である。

②国や大企業がすすめる大規模な開発による環境破壊や排気ガスによる大気汚染など、環境問題を社会的問題として捉えることは、重要なことである。二酸化窒素の測定活動、ゴミ問題での自治体への要請、など、これまでの活動をいっそう発展させる必要がある。

③同時に、環境問題とは、経済活動に携わる個々の事業者の課題であり、また、個々の働く人々や地域住民の課題であるとの認識も欠かすことができない。このような立場に立つてこそ、私たちは、主体的に環境問題に関わることができる。

3. 具体的な取り組み課題としてのISO14001の認証取得 （略）

医療生協さいたまでは、2004 年 11 月に ISO9001 と統合し、さらに 2006 年 3 月に JISQ15001 を包含して、以下のような運営組織図で、環境マネジメントシステムを推進しています。

[illegible]

②法人及び事業所の内部監査責任者は、品質・環境の内部監査員資格を有するものとする。

④ 環境監査の概要

1) 外部監査

医療生協さいたまでは、審査登録機関による ISO14001 サーバーランス審査を6ヶ月毎に受審してきました。しかし、2004年11月のISO9001との統合に伴い、以後の審査は、ISO9001との統合審査として実施されることになりました。

そして、2008年度からは、それまでの年2回から、年1回の維持審査を実施することに変更しました。

そのサーバーランス・特別・統合・複合審査が、2011年11月8日～9日に実施されました。

【サーバーランス・特別・統合・複合審査】 2011年11月8日～9日

経営者層、本部機能の審査以外に、埼玉協同病院、埼玉西協同病院、老健みぬま、川口診療所、かすかべ生協診療所、行田協立診療所、あさか虹の歯科、生協ケアセンターたかしな、医療生協ケアセンターさきたま、医療生協ケアセンターわかくさ、医療生協ケアセンターひだまり、本部事務局に審査機関の審査員が出向いての実地審査が行われました。

その結果、高く評価できる点12件（品質10件、環境2件）が検出されたと報告を受けたものの、不適合1件（品質）と観察事項21件（品質12件、環境7件、共通2件）がありました。

不適合の指摘があった内容は、「生協ケアセンターたかしなにおいて作成している、『訪問介護計画書、〇様分、2010年12月12日付』他においては、計画書を作成した直後に行う、レビューをしたという記録は提示されなかった。」点でした。それに対して、ただちに是正処置を取りました。



2) 内部監査

内部監査は、年間計画に基づいて、環境マネジメントシステムの有効性の確認を行うもので、この結果はマネジメントレビューに反映され、継続的な改善が図られています。

医療生協さいたまでは、ISO14001「内部環境監査規程」に基づき内部環境監査を実施してきました。

その後、「品質」及び「個人情報保護」マネジメントシステムとの統合に伴い、「内部マネジメントシステム監査」として、年2回6月と12月に内部監査を実施しています。

それぞれの内部監査の1か月以上前には、法人での重点監査項目を発表し、それと各事業所ごとの重点監査項目も設定してもらって、それを毎回の内部監査に取り入れてもらうようにしています。



内部監査の実施前には、各事業所ごとにオープニング会議を開催することを推奨し、内部監査の重点監査項目の徹底と意思統一を図っています。

また、内部監査の終了後には、クロージング会議を開催することを推奨し、そこで、内部監査の反省をし、不適合項目や観察事項についての意見交換もし、必要に応じては、観察事項の不適合項目への変更やその逆の不適合項目の観察事項への変更も会議の意思としてできるようにしています。

⑤ 環境教育のとりくみ

医療生協さいたまでは、環境教育を一般教育、特別教育に分け、それぞれの対象者と教育内容を定め、事業所ごとに年間教育計画を作成して、実施してきました。

一般教育は、環境方針、環境目的・目標等の周知と環境に関する意識向上、緊急事態への対応などについて行いました。

特別教育は、著しい環境影響を生じる可能性のある作業に該当する作業手順書、及び該当する緊急事態への対応、不適合への対応、法規制についての周知について行いました。

新入職員に対しては、毎年4月の入職オリエンテーションの時期に、以下のようなパワーポイント教材を用いて、研修を行っています。

医療生協さいたま

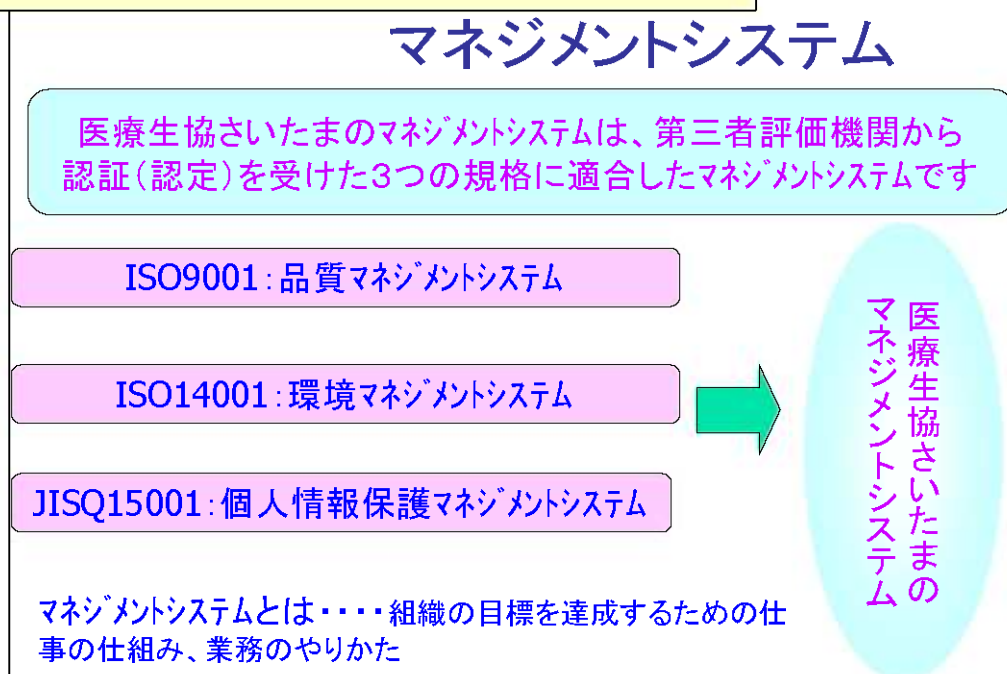
マネジメントシステムと私たちの仕事

マネジメントシステムと「第三者評価」

- ・ISO9001 品質マネジメントシステム
- ・ISO14001 環境マネジメントシステム
- 個人情報保護マネジメントシステム

2011.4.1
新入職員研修用

医療生協さいたま 法人マネジメントシステム委員会事務局



⑥ 環境コンクールのとりくみ

* 第1回環境コンクール——2003 年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：液晶プロジェクター）
 - * 埼玉西協同病院——対前年比 88.2%（CO₂）、85.1%（紙）
- ☆ベストアイデア賞（賞品：スキャナ・コピー等複合機）
 - * 埼玉協同病院「継続的周辺清掃活動が計 12 回」
- ☆情報記録最多賞（賞品：36mm テプラ）
 - * 熊谷生協病院——85 通、1 人当たり 0.768 通、9 ヶ月送付
 - * 秩父生協病院——74 通、1 人当たり 0.829 通、8 ヶ月送付



* 第2回環境コンクール（ペーパーレスコンクール）——2004 年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：デジタルカメラ）
 - 「常勤換算職員一人当たり紙購入量を昨年度対比で最も削減させた事業所」
 - * 病院・老健・本部の部——秩父生協病院、診療所の部——所沢診療所
介護事業所の部——CCとこしん
- ☆ベストアイデア賞（賞品：デジタルカメラ）
 - * 熊谷生協病院「ISOXross に手順書を登録することで紙での
全部門配付を行わず紙削減」



* 第3回環境コンクール——2005 年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：デジタルカメラ）
 - * 川口診療所——対前年比 88.9%（CO₂）
- ☆ベストアイデア賞（賞品：自転車、テレビデオ）
 - * 生協歯科診療所の「毎月委員会が担当しての環境活動」
 - * ながとろヘルパーステーション「アイデア生かした環境活動」
- ☆CO₂排出量記録賞（CO₂レポート賞）（賞品：デジタルカメラ）
 - * 埼玉協同病院——毎週定時の測定と統計資料の活用

* 第4回環境コンクール——2006 年度

- ☆ベストアイデア賞（賞品：自転車）
 - * CCちちぶ「園芸部を作り、年間 100 鉢目標に育てて、利用者宅に配布したり販売した」
- ☆継続活動賞（みんなで続けたで賞）（賞品：テレビデオ）
 - * 老健さんとめ「利用者・組合員・職員が協力して環境活動を推進」

* 第5回環境コンクール——2007 年度

- ☆地球にやさしかったで賞（賞品：マイ箸）
 - * 熊谷生協病院「CO₂排出量を対前年度比 94.1%に削減」
- ☆みんなで学んだで賞（賞品：デジタルカメラ）
 - * CCさきたま「環境教育を事業所をあげて推進」
- ☆特別賞（賞品：デジタルカメラ）
 - * 秩父生協病院「エコキャップ運動を事業所をあげて推進」



* 第6回環境コンクール——2008 年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：マイ箸）
 - * 埼玉協同病院「CO₂排出量を対前年度比 95.1%に削減」
- ☆ベストアイデア賞（賞品：デジタルカメラ）
 - * 秩父生協病院「環境活動を事業所をあげて推進」

* 第7回環境コンクール——2009 年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：デジタルカメラ）
 - * 生協CCたかしな「CO₂排出量を対前年度比 77.7%に削減」
- ☆ベストアイデア賞（賞品：大型穴あけパンチ、中綴じホチキス）
 - * ながとろヘルパーステーション「不要FAXを調査して削減した」

* 第8回環境コンクール——2010 年度

- ☆ベストアイデア賞（賞品：扇風機 5 台）
 - * 秩父生協病院「エレベーターにおける閉じ込み事故対策訓練を実施」
- ☆エコライフDAY優秀賞（賞品：電気ポット）
 - * 生協妻沼介護センター「夏・冬のエコライフDAYに全職員参加」

* 第9回環境コンクール——2011 年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：園芸用品一式）
 - * かすかべ生協診療所「電気使用量を対前年度比 78.8%に削減」
- ☆ベストアイデア賞（賞品：エコ用品）
 - * 浦和民主診療所「節電ニュースの発行やチームグリーンカーテンの活動」



(2) サプライチェーンマネジメント (SCM) の状況

① 環境に配慮したサプライチェーンマネジメントシステムの概要

医療生協さいたまでは、新規取引業者の評価および選定に対して、「環境対応」についてを評価項目に入れて選んでいます。

さらに、現在の取引業者についても1年に1回再評価をしています。その時の評価項目にも「環境対応」を加えて、実施しています。

また、施設の新築、改築、設備の更新に際しても、環境に対する配慮を大切にしている、工事の方法、設備の内容にも環境にやさしいものを追求しています。

<用語解説> サプライチェーンマネジメント (SCM)

サプライチェーンマネジメント (Supply Chain Management) は、供給連鎖管理とも訳され、一般的には、製造から販売までの工程における情報を、組織や企業をまたいで共有することによって、効率化とコスト削減などを推進する経営手法のこととされています。

ISO14001 では、2004 年改訂版で「環境側面」の項で「組織が管理でき、かつ影響が及ぼすと思われる」と記載されていた部分が、「組織が管理できる側面及び影響を及ぼすことができる側面」という言葉に改訂され、直接管理できなくとも影響を及ぼすことができる管理側面がマネジメントの対象となることが明確化されました。これによって、従来規格ではあいまいであったサプライチェーンマネジメントを明確に要求するものになったと解されています。付属書で更に具体的な考慮事項が列挙されています。

具体的には、取引先に対して、事業活動における環境配慮の取組に関し、どのような要求や依頼をしているのか、それをどのようにマネジメントしているのかなどのことです。

② 環境に配慮したサプライチェーンマネジメントシステムの実績

本部事務局での取引業者に対する環境への配慮事項

☆物品を納入している業者に対しては、廃棄物（梱包材、廃トナーなど）を持ち帰って、再利用をしてもらえるように促しています。

☆営業用の車は、できるだけ燃費の良いものをリースするようしており、廃車時は引き取ってもらって、有効利用を促しています。

☆印刷用紙、コピー用紙の納入業者には、再生紙を入れてもらえるようにし、環境にできるだけ配慮しています。

☆使用済みの紙は、古紙回収業者に回して、リサイクルに努めています。

☆館内にも観葉植物や水槽を各所に設置し、なごみの空間となるように配慮しています。

取引業者の再評価における環境対応へのチェック

☆毎年度末に、事業所ごとに取引業者の再評価を実施していますが、すべての取引業者について、価格、納期、購買品の品質、個人情報保護体制とともに環境対応を項目に入れて再評価をしています。

☆その内容は、ISO14001 を取得しているかどうか、または、包装の引き取りなどに応じているかを評価しています。

☆再評価の結果、不十分な場合には、取引引きを中止することとしています。

☆自然採光を多く取り入れる設計にして、明るいイメージにしています。



(3) 情報開示と環境コミュニケーション

① ISOXROSSの活用

医療生協さいたまのLANでは、ISOXROSSという文書管理システムを利用して、マニュアルや規程などの文書、監視測定や環境情報などの記録、各種様式、学習資料などを各事業所に提供し、最新版管理をしています。



② 環境情報記録

各事業所からは、内部情報として、環境に関する活動報告、職員の気づきや問題点などが寄せられます。また、外部情報として、患者様や組合員から寄せられた意見や苦情、行政や外部団体から情報も寄せられます。それらをもとに、必要な改善処置を実施しています。

③ 「エコニュース」の発行

2003年5月より、毎月1回定期発行し、必要に応じて号外を出し、メールで全事業所に配信すると共に、ISOXROSSに登録し、閲覧できるようになっています。これには、環境情報記録などで寄せられた環境活動等について、全事業所に知らせたい事項や監視測定結果などを載せて水平展開しています。2011年8月で、創刊より100号となりました。

④ 「環境活動月次報告書」の発行

2005年4月版より、毎月1回定期発行し、現在はA4版16ページ立てで、メールで全事業所に配信すると共に、ISOXROSSに登録されて閲覧できるようになっています。これには、事業所毎の各種パフォーマンス値を載せると共に、環境情報記録の抜粋、トピックスなどが掲載して、環境活動を進める上での情報開示とコミュニケーションの手段となっています。



(4) 環境法規制順守のとりくみ

① 環境法規の最新版管理

各事業所では、それぞれの自治体に対して、環境関係の条例についての聞き取りが進められ、その内容について、環境情報記録として事務局に送られてきます。

また、事務局では、「ISO14001 環境法規制ハンドブック」、「チェックリスト環境保全基準」、インターネット等から常に最新情報を入手するように務めています。

各事業所での環境関係条例の聞き取り事例

☆ふじみ野市役所にて確認（大井協同診療所）

大井協同診療所では、2010 年度における、環境関係の条例の制定、改廃についてふじみ野市の担当課に確認しました。

その結果、新しく 2011 年 3 月 23 日に『ふじみ野市路上喫煙の防止及びまちをきれいにする条例』が制定された（施行 2011 年 6 月 1 日）との回答でした。



② 環境法規等要求事項登録表の更新

2009 年度は、関連する法規を調査した結果、下表の 19 法令について、対応すべき事項を明確にしました。

また、それ以外にも、各事業所から寄せられてきた、それぞれの自治体の環境関係の条例、業界団体等のガイドラインなど対応しなければならない要求事項を特定し、必要に応じて「環境法規等要求事項登録表」を更新しています。

環境法規等要求事項登録表に掲載している19法令

家電リサイクル法、建設資材リサイクル法、廃棄物処理法、PCB 廃棄物処理特別措置法、地球温暖化対策推進法、省エネ法、フロン類回収破壊法、大気汚染防止法、自動車NOx・PM法、水質汚濁防止法、水道法、浄化槽法、消防法、高圧ガス保安法、労働安全衛生法、電気事業法、建築基準法、薬事法、医療法（施行規則第30条22）



③ 環境法規制順守評価

各事業所では、毎年10月に、「環境法規等要求事項登録表」に基づいて、環境法規制順守評価が行われています。

最新の環境法規等に基づいて、順守されているかを担当者が評価し、コンプライアンスに基づく、環境活動を推進しています。

(5) 緊急事態対応訓練の概要

全事業所で「緊急事態の可能性リスト」を作成し、緊急事態に対応するため日頃からそれらに対する対応策を検討し、対応手順を明らかにすると共に、毎年緊急事態対応訓練を実施して、いざという時への備えをしています。

見直すべき内容としては、緊急連絡網のあり方、訓練の仕方（手順）などの見直しが必要であることを確認しました。

今年度も特に9月の防災週間にあたり、大規模災害時緊急連絡・所在確認訓練を提起し、各事業所毎に実施しました。その他にも日頃から火災訓練や大規模災害（トリアージ）訓練等を行っています。

<緊急事態対応訓練を実施した事例>

☆かすかべ生協診療所（緊急連絡網訓練）

かすかべ生協診療所では、10月4日（火）19：30～、緊急連絡網の訓練を実施しました。内容は、終業時間外に発生した震災を想定し、職員の安否と翌日の職員の参集の可否を確認しました。

その結果、連絡開始から66分で、職員39名の内、36名と連絡がとれ、3名が不通でした。

電話組の連絡人数を4人までにしたので、前回よりも伝わる速度が上がりました。電話組での情報は、口語になるので、要件のみとしたほうがよいと思われます。

メール組は前回の反省から「10分以内に返信」ルールに変更したので、伝わる速度が上がりました。一部の職員にメールの連絡方法がよくわかっていない職員がいたので、周知させる必要があります。特に、準備・対応手順の見直しの必要はありません。



☆埼玉協同病院（トリアージ訓練）

埼玉協同病院では、6月4日（土）14時～15時に、前期総合防災訓練（トリアージ訓練）を小児科外来、整形外科外来、外来で実施しました。

<訓練の目的>

集団災害を想定し、多数の負傷者が発生した場合のトリアージの実施と、重症傷病者に対する適応医療機関への後方搬送訓練を行う。

<災害想定>

当院の近隣で、観光バスを含めた自動車数台の多重衝突事故により多数の負傷者が発生。災害現場にて、現場トリアージが行われている。消防本部からの養成で、当院には、軽症者を中心に相当数の負傷者が搬入されるため、災害体制を確立し、医療対応能力からトリアージを行う必要性がある。軽症者の中に重傷者も含まれており、後方の高次医療機関への搬送が必要とされる。

<訓練内容>

①災害対策本部設置訓練、②トリアージ訓練、③無線機扱い訓練

○振り返り

- ①患者役が良くやってくれてリアリティも高かった。
- ②トランシーバーがツールとしての能力が低く、役に立たない。

機種選定の検討を次回持ち寄りたい。

③参加人数92人

○見直すべき内容

トランシーバーの機種選定

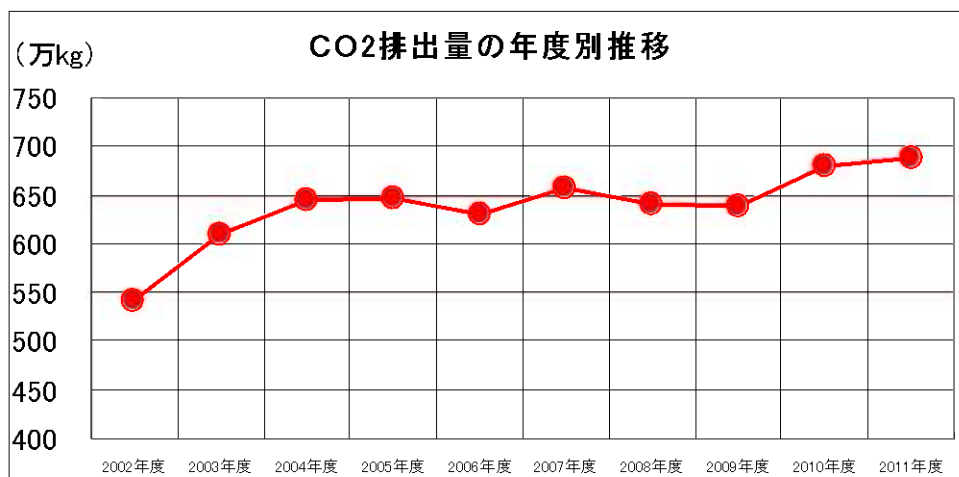


第4章 事業活動に伴う環境負荷 及びその低減に向けた取組の状況

(1) エネルギー使用量の削減

① パフォーマンス値の概要

1) 2011 年度の概要



2011 年度のパフォーマンス値集計の結果、全体のCO₂排出量は、対前年度累計比 100.8%で、0.8%の増加となり、過去最高となっています。

それぞれの使用量は、対前年度比では、左表のように、電気 90.7%、ガス 91.4%、水道

対前年度比	
CO ₂	100.8%
電気	90.7%
ガス	91.4%
水道	103.0%
灯油	116.6%
ガソリン・軽油	100.6%

103.0%、灯油 116.6%、ガソリン・軽油 100.6%となっていて、電気、ガスで大きく減らしましたが、CO₂排出 0.8%とわずかながらも増加しました。

これは、東日本大震災以後の節電対策を法人全体で強化したことで、電気、ガスを大きく節減したことによるものです。しかし、東京電力のCO₂排出係数が引き上げられたことにより、CO₂排出量としては微増となりました。

2) 常勤換算職員一人当のCO₂排出量は、対前年度比 97.9%と減少

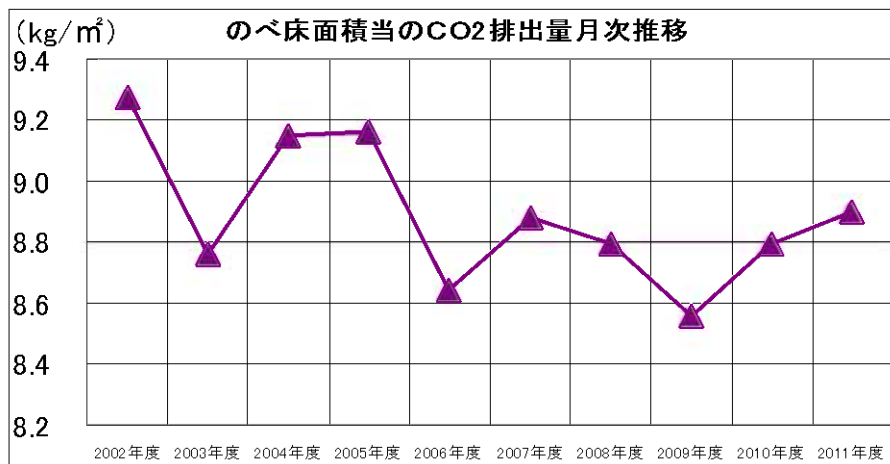


医療生協さいたまにおける常勤換算職員一人当のCO₂排出量を見てみると、2010 年度⇒2011 年度が、97.9%と減少し、計測を開始した 2002 年度よりも低くなっていることがわかります。

この 7 年間で見てみると、常勤換算職員数

は年度平均で、2004 年度 1,641.8 人⇒2011 年度 1,992.9 人へと 21.4%増加しています。しかし、その割には、CO₂排出量が抑制されてきていることがわかります。

3) のべ床面積当のCO₂排出量は、2002年度より減少

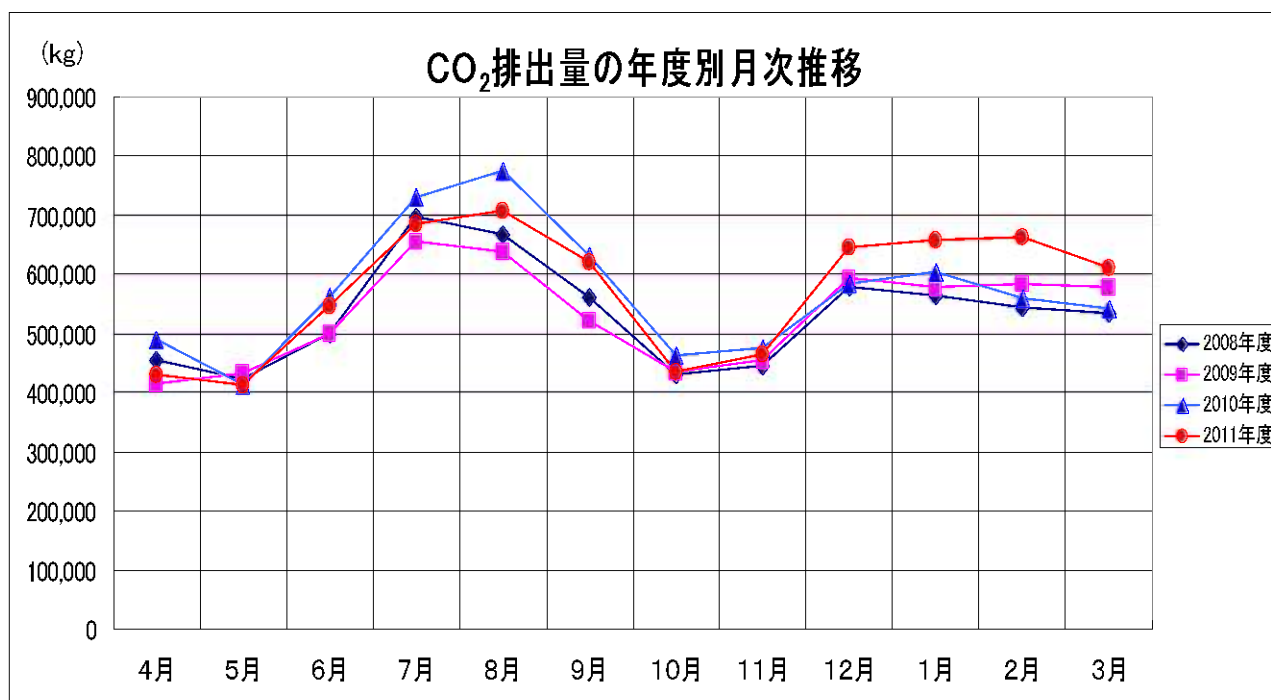


医療生協さいたまにおけるのべ床面積 (m²) 当のCO₂排出量は、2010年度よりも 1.1%増加し、8.9kg/m²となりましたが、測定を開始した2002年度よりは、4.4%減少しています。

この間に埼玉協同病院でD館、F館を増築、浦和民主診療所、所沢診療所、生協歯科を新築移転するなど、

規模が拡大していますが、それに比してCO₂排出量が抑制されてきていることがわかります。

4) 月次推移からは、夏期と冬期にCO₂排出量増加



全体のCO₂排出量の月次推移を見ると、上図のように夏期と冬期の割合が高く、空調関係による影響が大きいものと考えられます。特に、2011年度は夏場の電力不足に伴う省エネ対策 (節電等) の徹底により、7月、8月が昨年度より抑制されていることがわかります。

② エネルギー使用量の削減の取り組み

2011年度は、東日本大震災以後の節電の要請も踏まえて、“夏の節電対策”を打ち出し、「CO₂排出量を、2010年度の96%以下に削減、とりわけ電気使用量を2010年度の90%以下に削減」することを目標にしてきました。また、「エコライフDAYに職員1,500名以上、組合員500名以上が参加する」ことも目標としましたが、目標には及びませんでした。

具体的には、「エネルギー使用量削減規程」に基づき、下表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。



エネルギー	運用基準
電気の使用	・節電ステッカーを貼る ・空調温度設定の順守（夏 26℃、冬 22℃） ・パソコンの終業時、不使用時の電源OFF ・エレベーターの使用について、例外除き職員の使用禁止
ガスの使用	・空調温度設定の順守（夏 26℃、冬 22℃） ・ガス器具の業務以外の使用制限
ガソリンの使用	・運行記録表による公用車使用状況の把握と点検 ・ガソリン購入量の請求書、伝票による把握と記録 ・「アイドリングストップ」のステッカーを貼る ・短距離は自転車使用

今年度は、夏期の節電要請も踏まえ、CO₂排出量削減の取り組みをより徹底するために、前から全事業所で実施してきた“クールビズ”期間を拡大し、設定温度も高め、以下のように実施しました。

・全事業所で“クールビズ”を実施

全事業所で、5月15日～10月31日の期間“クールビズ”を実施しました。内容は、

- ① 夏期空調設定温度である 26℃を、当面 2℃高く 28℃に設定し、エネルギー削減効果を高める。
- ② ノーネクタイ、ノー上着などを含め、涼しく、効率的に仕事をすすめる服装を着用する。
- ③ とりくみの内容をポスター等で、職員・組合員・利用者の皆さんにアピールし、理解を得る。

以上で、職場毎に工夫して実施されました。

③ 取り組み事例

各事業所では、「エネルギー使用量削減規程」に基づいて、いろいろなアイデアを出し合って、取り組んできました。以下は、その事例です。

・「本部事務局 組合員向けに節電キャンペーンを実施しています」

組合員向けに節電キャンペーンを実施しています。7月から9月までの取りくみとして、ポスターを各事業所に発信しました。本部にもポスターを掲示しています。

職員にも積極的に参加していただきたいと思っており、県連組織健康づくり委員会でも提起しました。



・「ケアセンターひだまり 電気使用量を大幅ダウンさせました」

ケアセンターひだまりでは、電気使用量が、昨年比 23%ダウンしています。



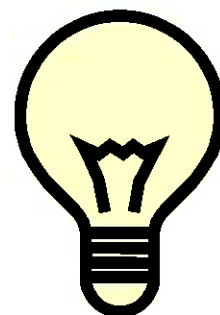
特に夏場（6月～9月）はエアコン使用を控えて、扇風機を使用・網戸を導入し窓を開けるなどしたため昨年比 29%ダウンしました。

また、パソコンの故障による4台の新機種への入れ替えや、事務所内の消灯の徹底も要因と考えられます。

・「秩父生協病院 契約電力を1割削減し、節電に努めます」

秩父生協病院では、契約電力の変更を実施しました。東京電力より節電の依頼があり、過去1年間の利用を考慮し、ピーク電力を1割削減し、契約電力を251W→225Wへ変更しました。

なお、ピーク電力削減対策として、
①照明の間引き、②空調の設定、③LED電球への入替え等を実施・検討しています。



・「所沢診療所 いろいろと節電に取り組んでいます」

所沢診療所では、節電にとりくんでいます。外来エリアである1階、2階の壁沿いの間接照明は切れている蛍光管が散見されましたので、新しい蛍光管に交換し、かつ、規則的に間引きしました。



かえって明るくなった印象です。ダウンライトは日中は全灯消灯しています。暗くなった夕刻以降、夜間は半分のライトを間引きしました。屋上のネオンサインは自動点灯でしたのでブレーカーをOFFにしました。

この間少々暑かった時期もありましたが、窓明け、日よけで対応で来しました。また3階のカーテンの無い二面ガラス張りの組合員ルームにはサンシェードを取り付けました。真夏をどう乗り切るか検討中です。

・「老人保健施設みぬま 扇風機を使用して節電に努めています」

老人保健施設みぬまでは、本部より扇風機を15台いただいたので、早速各階5台ずつ使用することとしました。1Fフロアは事務系ルームにのみ使用しようと思いましたが、デイの利用者様も扇風機の方がよいという方もおられたので、デイルームでも使用することとしました。以外と涼しいので何とか28℃をキープし、節電に努めたいと思います。



・「浦和民主診療所 節電対策ニュースを発行しています」



浦和民主診療所では、管理・総務が中心となって省エネ対策を実施しています。随時、「節電対策ニュース」を発行し、職員会議や朝会で省エネについて検討・周知しています。

電力の「見える化」で職員に省エネ効果を実感してもらい、さらなる省エネにつながればと、発行を続け、No.1～No.6まで発行しました。

・「ケアセンターとこしん 最大消費電力を抑える対策を取っています」

ケアセンターとこしんでは、冷房・暖房のスイッチを入れる時間を8時半にすることとしました。

東京電力の基本料金は前年度の最大消費電力が次年度の基本料金になることがわかったので、所沢診療所と協力して、空調やポットの電源を同時に入れないようにしました。

そのため、ケアセンターの空調は8時半に、湯沸しポットは9時にスイッチを入れることとしました。



「昨年度から引き続いて夏・冬のエコライフDAYに取り組みました」

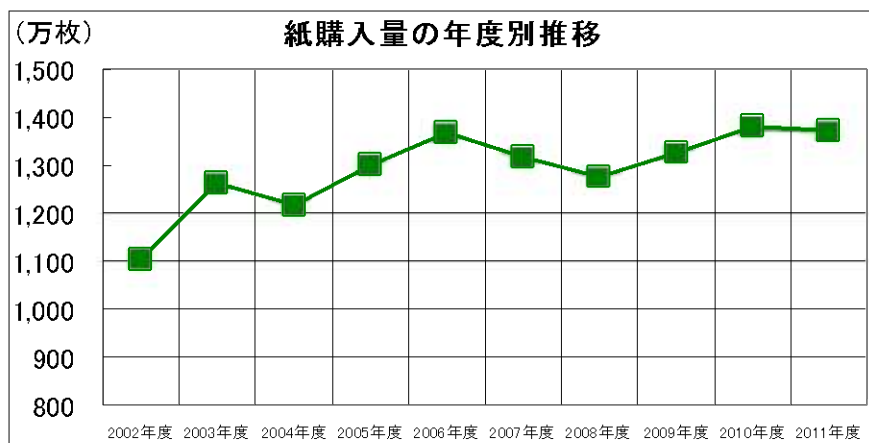
今年度も夏と冬のエコライフDAYに取り組んで、職員と組合員合わせて、夏 1,758 人分、冬 1,481 人分を集約しましたが、これで、CO₂を夏 1,368,434g、冬 1,299,808g 削減したとなりました。

	事業所名	夏の職員・組合員合計			冬の職員・組合員合計		
		枚数	人分	CO ₂ (g)	枚数	人分	CO ₂ (g)
病院	埼玉協同病院	473	536	382,120	341	370	312,640
	埼玉西協同病院	31	38	33,919	4	5	3,735
	熊谷生協病院	90	100	78,080	7	9	7,527
	秩父生協病院	63	67	46,491	25	25	20,408
診療所	浦和民主診療所	125	137	119,553	50	68	58,769
	川口診療所	30	32	22,895	6	6	4,866
	さいわい診療所	24	25	41,931	34	38	32,869
	おおみや診療所	17	18	22,150	63	66	63,315
	かすかべ生協診療所	24	31	15,982	41	52	13,544
	所沢診療所	9	14	13,517	12	14	12,709
	大井協同診療所	48	48	43,536	45	48	43,536
	上福岡協同診療所	35	39	38,547	48	58	60,266
	行田協立診療所	27	30	21,903	31	34	31,445
歯科	生協歯科診療所	18	18	12,557	56	57	52,686
	あさか虹の歯科	12	16	13,454	17	21	21,620
老健	さんとめ	68	83	70,626	59	74	66,811
	みぬま	15	16	17,195	4	4	2,524
本部	本部事務局	57	75	59,609	59	81	64,739
	配置薬センター	1	1	988	2	2	1,414
介護事業所	熊谷生協 C.C.	37	47	36,503	39	49	40,965
	生協ちちぶ C.S.	35	45	31,567	34	58	48,472
	生協ながとろ C.S	10	26	17,593	10	27	22,364
	生協介護 C.こだま	14	14	9,652	11	11	9,012
	生協介護 C.妻沼	10	16	8,874	—	—	—
	C.C.さきたま	15	27	18,295	12	20	17,215
	C.C.うらしん	46	63	47,517	34	45	39,770
	C.C.かがやき	7	7	6,712	18	20	22,175
	C.C.かもがわ	19	19	16,495	24	25	21,268
	C.C.きょうどう	21	21	14,639	16	19	11,427
	C.C.たかしな	24	25	23,349	22	26	24,669
	C.C.とこしん	17	18	13,413	19	22	17,854
	C.C.わかくさ	18	30	26,934	21	39	38,818
	C.C はんのう	18	18	14,664	19	19	14,597
	C.S.かしの木	23	26	20,656	7	12	8,685
	ひだまりSt	14	14	10,509	12	13	9,194
	おおみや C.C.	24	28	22,516	32	38	34,652
合 計		1,510	1,758	1,368,434	1,241	1,481	1,299,808

(2) 紙使用量の削減と再生紙の使用促進

① パフォーマンス値の概要

1) 2011 年度の概要



2011 年度のパフォーマンス値の集計の結果、全体での紙購入量は、対前年度累計比で 99.5% となり、0.5% 前年度を下回り、2 年連続して増加したものが減少に転じました。

2011 年度の総合計では、13,706,500 枚の紙を購入しましたが、前年度より 68,000 枚減少しています。年間購入枚数を面積にすると 940,685

㎡となり、東京ドームの 20.6 倍に相当します。また、常勤換算職員一人当たりになると、年間紙購入量は約 6,877 枚で、1 シメ 500 枚で数えると、一人約 14 シメになります。

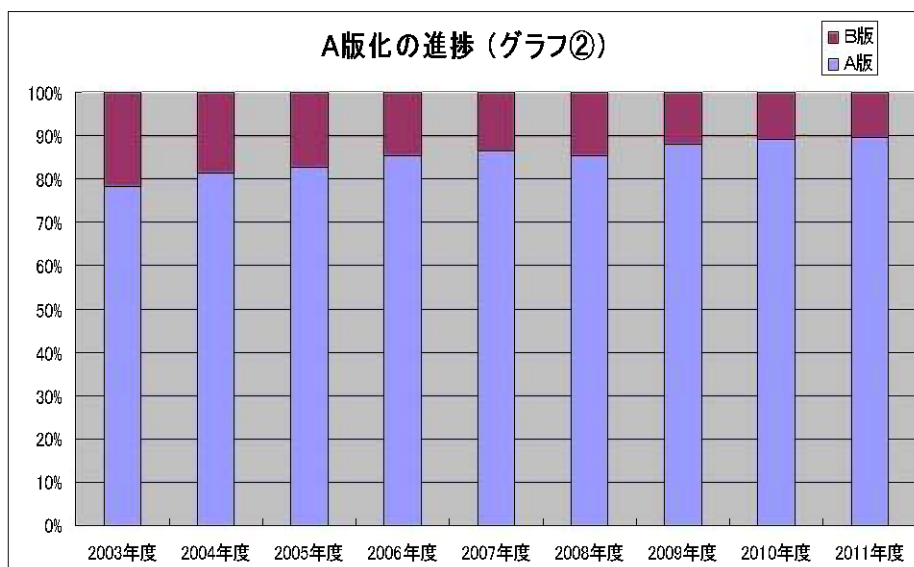
今年度は、紙使用量をさらに削減させるため、マネジメントシステム委員会で紙の購入・使用について分析し、夏に 2011 年度の紙使用量削減対策を提起しましたが、“昨年度の 98% 以下にする” という 2011 年度目標には、少し及びませんでした。

紙の購入量は、2 年連続で大幅に増加していたものが、少し減少に転じました。これは、埼玉協同病院等で新しいコピー機を導入し、A3 版 2 つ折り印刷ができるようになったことが、紙の枚数を減らすことになったと思われます。しかし、面積にすると A3 版の比率が増えたことで、逆に 0.9% の増加となっています。

今後は、各事業所の実態を分析し、いろいろとアイデアも出し合って、紙使用量の削減を進める必要があります。



2) A 版化の進捗



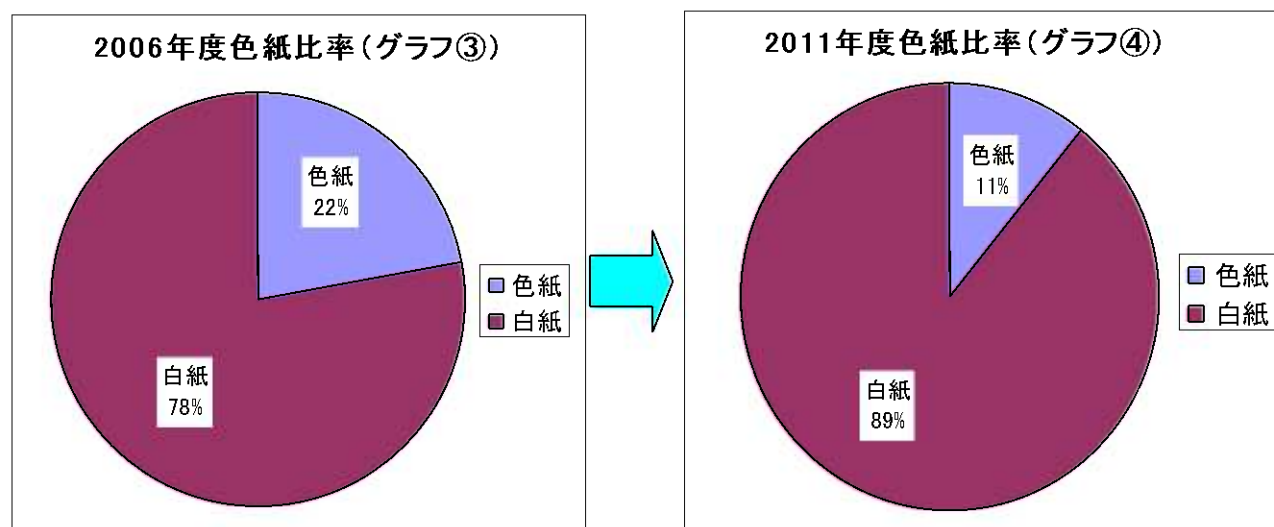
A4 版化は、医療生協さいたま全体の方針として、この間推進してきました。その結果、左のグラフ②に見られるように、2003 年度 78.4% だったものが、徐々に増加し、2011 年度には、89.8% へと至って、今までの最高に達しています。

埼玉協同病院、埼玉西協同病院、行田協立診療所、老健さんとも、介護

事業所では、A4 版化は 9 割以上に達していますが、まだ 5 割、6 割水準にとどまっているところも

見られます。それらの事業所での用途は、色紙同様組合員向け支部ニュース等が主のことですが、B4→A4により、パルプ使用量も減り、単価も半分近くへ減少するのでさらに推進する必要があると思われます。

3) 色紙使用の適正化



私たちが使っている色紙は古紙配合 70%以下で 100%の再生紙ではなく、購入単価も A4 白紙（古紙 100%）と A4 色紙（古紙 70%薄口）を比較すると 3.5 倍、A4 色紙（古紙 70%中厚）と比較すると 5.1 倍と白紙の 3～5 倍もするのでほんとうに必要なものなのか検討の上、削減をはかる必要があることを 2006 年度から提起してきました。

しかし、組合員や患者向け配布物に色紙が多く使われていて、減少しにくい現実がありましたが、埼玉協同病院や秩父生協病院、熊谷生協病院、川口診療所、おおみや診療所、所沢診療所、行田協立診療所、老人保健施設さんどめ、介護事業所等では、きちんと訴えて、徹底して管理したことなどにより、数%台まで減少させてきています。

それらによって、色紙比率は、2006 年度 22.3%（グラフ③）あったものが着実に減少し、2011 年度は 10.8%（グラフ④）と、5 年間で 11.5%減ってきています。

今後さらに、エコ推進と経費対策の両面から、さらに白紙に切り替える必要があると思われます。

② 紙使用量削減の取り組み

運用基準
・会議使用枚数の設定 ・機関紙、ニュースの効率的活用 ・紙購入量のチェック ・裏紙使用、両面使用の推進 ・メールの積極的活用、FAX 効率的活用 ・再生紙の使用促進

2011 年度は、前年度まで 2 年連続しての増加となったことをふまえて、「紙使用量（購入枚数）を 2010 年度の 98%以下に削減し、色紙比率を落とす」ことを目標に取り組み、全県会議でも紙使用量削減を強調してきましたが、少し減少したものの目標達成はできませんでした。

具体的には、「紙使用量削減・再生紙の使用促進規程」に基づき、左表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。

③ 取り組み事例

各事業所では、「紙使用量削減・再生紙の使用促進規程」を受けて、様々なアイデアを出し合って、紙使用量の削減に取り組んできました。次は、その事例です。

・「本部事務局 パウチの導入で、紙の削減をする」

本部事務局にパウチの機械が導入されたことを機に、研修の度に印刷して作成してきた「6人5色」の色紙のキットをパウチにし、繰り返し使えるようにしました。

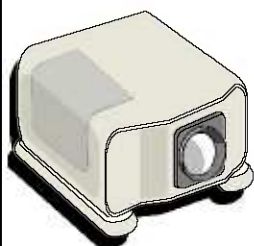
パウチにしたことによって、紙の削減になることはもちろん、切って色を塗ってという手間もなくなりました。またパウチにすることによって一枚一枚が丈夫なので使いやすいと大変好評です。これからも、繰り返し使用する研修キットをパウチにし紙の削減に取り組んでいきます



・「おおみやケアセンター プロジェクターの活用で、職員会議の紙資料を削減」

おおみやケアセンターの職員会議では、プロジェクターを使用し、紙の使用削減に取り組んでいます。前年度まで毎月会議資料として6枚～13枚紙を使用していましたが、今年2月よりプロジェクターを使用し、現在会議資料は2枚以下にとどまっています。

職員会議で使用する情報は、おおみやケアセンターの共有のフォルダーで管理し、職員がいつでもその情報を見ることができるようになりました。職員会議に参加できなかった職員も、報告書や資料をパソコンで見ることが出来ます。



今回エコな面の改善だけではなく、会議資料を無くしてしまう事や、前の月を振り返ってまで資料は見なかった・・・といった職員の意見を参考にし、いつでも！誰でも！閲覧できる！共有フォルダーで無くさずに管理するように工夫をしました。

今年度は、院所目標や環境委員会の目標にも紙削減を掲げ、会議資料5枚までの使用に挑戦したいと思います。

・「老人保健施設さんともめ 紙使用計画を作成しました」

老人保健施設さんともめの2011年度の紙使用についての計画を報告します。

①機関紙については、例年通り各支部ごとに必要部数を把握し発注・配布を行います。

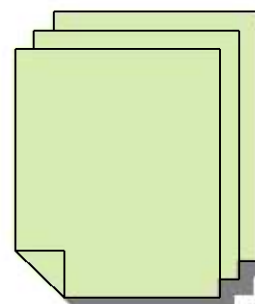
②施設内会議での使用枚数について

*各会議とも議事内容や資料で差異はありますと考えられます。

・管理会議・部門責任者会議ではA3用紙を使用し、基本はA3で20枚以内とします。

・各部会、委員会については報告書を含めA4で10枚以内としますが、追加でコピー機用紙確認項目を入れてチェックするようにしました。

昨日から確認をしています。無駄はしない！みんなで頑張っています。



・「川口診療所 会議紙使用枚数の設定について」

川口診療所の会議紙資料枚数設定については、以下のようにします。

2007年度11月より、スライド(PCにより)活用でペーパーレス会議に取り組んでいます。

2011年度は、去年同様1回会議につき1人5枚(10ページ)以内を目標にします。

また、定例学習会資料も同様、ペーパーレスを目指します。

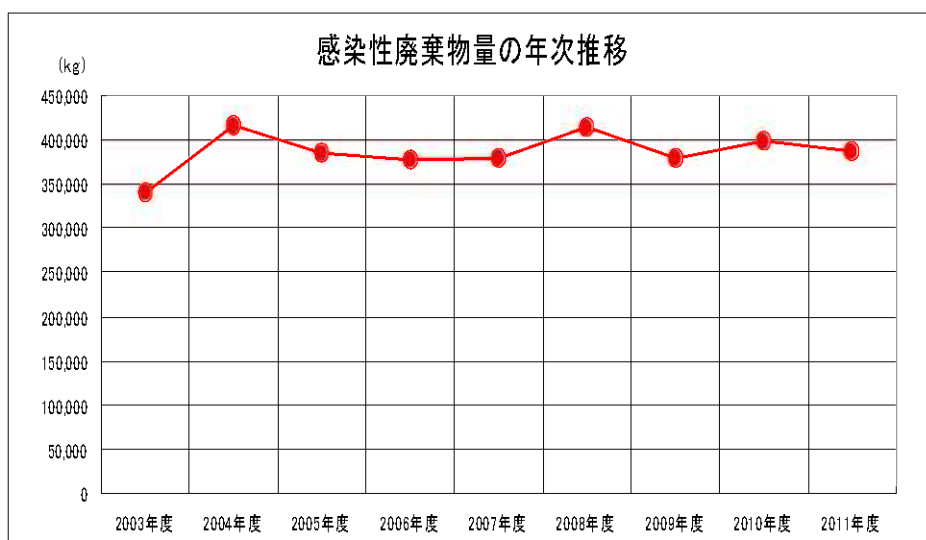
コピーのカラー・モノクロの使用量を『機器ご使用状況報告書』よりモニタリングし、使用量が増加している場合は、職員へ注意を発信します。(特にカラー)



(3) 廃棄物の削減と適正な処理

① パフォーマンス値の概要

1) 感染性廃棄物のパフォーマンス値

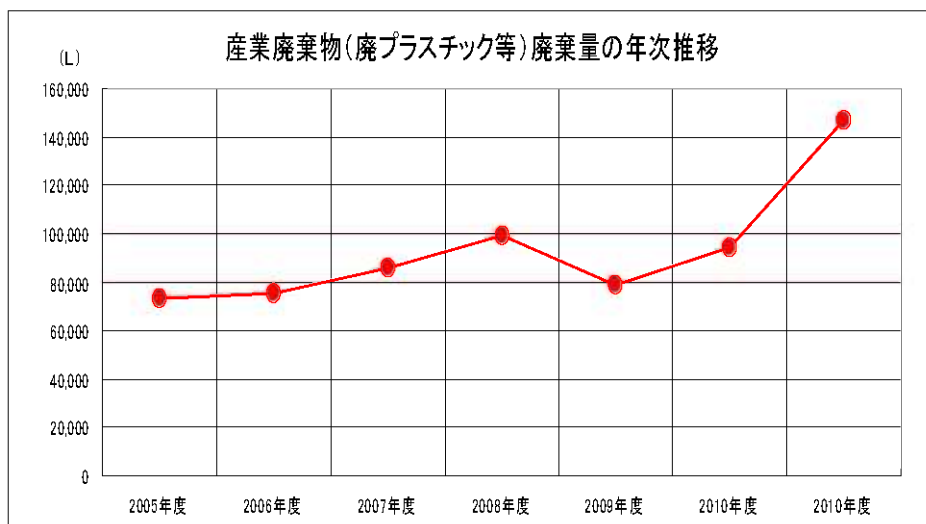


左図のように、全体での感染性廃棄物量は、2003年度⇒2004年度で122.5%と増加しましたが、本来一般の産業廃棄物としてもよい廃プラスチック類をより管理の厳しい感染性廃棄物として処理する事業所が増えたためでした。しかし、2004年度⇒2006年度では、2年続けての減少となったものの、2006年度

⇒2008年度では、逆に2年続けての増加となりました。2008年度⇒2009年度では、91.6%と減少しましたが、2009年度⇒2010年度では、105.4%と再び増加転じたものの、2010年度⇒2011年度では、96.8%と減少に転じました。

(尚、1 m³=300kg、1L=0.3kgで換算)

2) 産業廃棄物（廃プラスチック他）のパフォーマンス値



左図のように、全体での産業廃棄物量（廃プラスチック他）は、2005年度3年連続増えましたが、2008年度⇒2009年度では、79.2%と減少に転じたものの、2009年度⇒2011年度では、120.3%、186.3%と再び大幅な増加に転じています。その中で、本来一般の産業廃棄物としてもよい廃プラスチック類をより

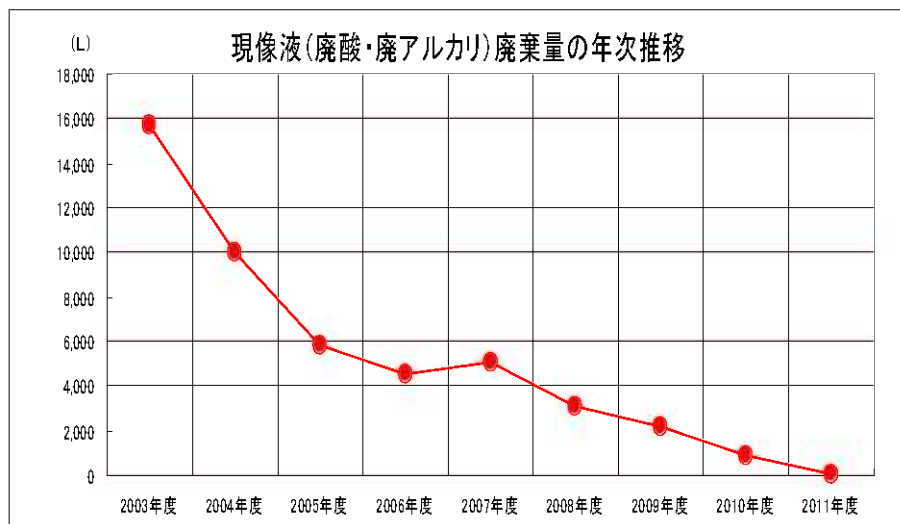
管理の厳しい感染性廃棄物として、いっしょに処理する事業所が6事業所あるので、その分産業廃棄物量（廃プラスチック他）は、プラスして考える必要があります。

(尚、1 m³=300kg、1L=0.3kgで換算)

3) 廃酸・廃アルカリのパフォーマンス値

次図のように、全体での、現像液（廃酸・廃アルカリ）廃棄量は、2003年度から2006年度にかけ

て、3年続けて大きく減少しましたが、2006年度⇒2007年度では、111.7%と増加しました。



しかし、それ以後は4年連続して減少しています。

これは、レントゲン撮影のデジタル化が順次進められ、フィルム現像液・定着液の使用が大きく減ってきているためです。

2011年度は、おおみや診療所でデジタル化され、後残っているのは行田協立診療所の歯科だけとなっています。

② 廃棄物削減と適正な処理の概要

目標	運用と活動	運用基準
紙類の回収、再資源化の徹底	紙類の分別基準徹底	・紙類の分別と有効活用
感染性廃棄物を 2010 年度以下に削減する	マニフェストの交付	・マニフェストの交付と管理の徹底
	法に基づいた適正な運用	・法的手続きの適正化

2011年度は、「紙類の回収、再資源化の徹底」、「感染性廃棄物を 2010 年度以下に削減する」の2つを目標に取り組みを進めてきました。

具体的には、「廃棄物管理規程」に基づき、上表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。

また、医療廃棄物がどのように処理されているのかについて、現地に赴いて確認することも行っており、適正な処理に努めています。

③ 取り組み事例

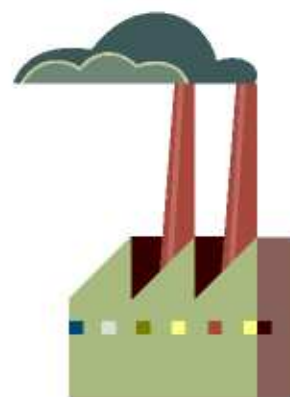
各事業所では、「廃棄物管理規程」に基づいて、いろいろなアイデアを出し合っており、取り組んできました。以下は、その事例です。

・「老人保健施設みぬま 特別産業廃棄物の中間処理施設を見学しました」

老人保健施設みぬまでは、5月27日（金）に特別産業廃棄物の委託契約会社メデイカルサービスのご案内で中間処理施設である群馬環境リサイクルセンターへ行ってきました。

当法人からは秩父生協病院と老健みぬまの2名が参加、その他12事業所22名参加のもと、会社概要、処理機械説明・見学が行われました。最終処分場は福島県いわき市ということで現在は行けないようですが、今後落ち着いたら企画する予定とのことでした。

また、これまで、年に1回の見学が望ましいという表記から、昨年より年に1回は排出事業者は見学する義務があるというように表記が変わったということもお話していたので、併せてお伝えいたします。



・「秩父生協病院 牛乳パックのリサイクルに取り組む」



調理の際にでる牛乳パック、ジュースの 1 リットルパックの空き箱を、洗って乾燥し、スーパーのリサイクルボックスへ破棄しています。

毎日 5 個程度の牛乳パックが出ているのでかなりの量のごみを削減できたと思います。

これからも今まで同様、食養科全員で取り組んでいきます。

・「生協介護センターこだま 地域のリサイクル活動に協力しています」

生協介護センターこだまでは、地域の人達にも楽しんでもらえるような取り組みをしていくという今年度の目標のもと、地域のリサイクル活動に協力する一環で、事業所で不要となったダンボール等をとっておき、近くの障害者作業所の方に取りに来てもらっています。

また、その作業所からは職員に毎月花の植木鉢を届けてもらっています。今月は赤と白の木瓜の花がきれいに咲いて、一足はやい春を楽しんでいます。事業所のまわりもプランターをおいて、もうすぐ水仙が咲き始めると思います。



・「行田協立診療所 感染性廃棄物処理用足踏みスタンドを設置しました」



行田協立診療所では、感染性廃棄物処理用足踏みスタンドを設置しました。

今までは直接手で開けたり閉めたりして感染の危険があり困っていました。

他の院所で足踏みスタンドを活用していることを知り購入しました。今後とも院内の感染防止に努めていきます。

・「本部事務局 家庭で行っているゴミを減らす方法について」

家庭で行っている不燃物のごみを少なくする工夫を紹介します。

私の住む千葉県船橋市のごみ処理は、可燃物が週 3 回、資源物（新聞・雑誌、布、瓶・缶など）が週 1 回、プラスチックなど不燃物が月 1 回の回収となっています。①ペットボトル、②牛乳パック、③食品トレイは自治体で回収せず、可燃物として処理されます。

仕事では分別するのに、家庭で自治体に合わせることに違和感があったので、自分なりに分別の努力をしています。①②③は洗ってから社会貢献活動として回収している近所のスーパーに持っています。

不燃物を可能な限り分けていますが、問題は回収が月 1 回のためにプラスチック類が多くたまることです。そのため、不燃ごみを減らすため、卵のパックや透明・半透明の入れ物について一定量たまるとガスコンロで柔らかくして小さくする作業を続けています。右の写真を参照ください。これは、埼玉協同病院の組担時代に支部長さんから教えてもらって、自分も取り入れました。ガス使うので二酸化炭素出しますが、ごみは少なくなります。



「各事業所でエコキャップ運動を推進しています」

医療生協さいたまの各事業所では、エコキャップ運動を事業所を挙げて推進するとともに地域にも広げてきています。

これは、エコキャップ推進協会で行っている事業で、ペットボトルのキャップを集めて、世界の子供たちにポリオワクチンを受けさせるというものです。

その内容は、キャップ 400 個 10 円で業者に引き取ってもらい、その利益でポリオワクチンを購入します。1 人分 20 円で接種することができるそうです。

また、業者に引き取られたペットボトルのキャップは、コンクリートパネルなどの製品に生まれ変わり、有効活用されるので、ゴミの削減、そしてCO₂削減としても期待されています。

その結果、2012 年 3 月 31 日現在で、全体の累計では、56,229kg（約 22,491,780 個）のキャップを収集しました。これは、28,115 人分のポリオワクチンを提供出来たことになり、またCO₂を 177,123kg 削減できたことに相当しました。

事業所別エコキャップ収集数一覧（2012 年 3 月 31 日現在）

事業所名	収集数(個)	収集量(kg)	削減 CO ₂ (kg)
埼玉協同病院	3,799,480	9,499	29,921
埼玉西協同病院	1,135,080	2,840	8,944
熊谷生協病院	3,711,760	9,279	29,230
秩父生協病院	4,243,720	10,609	33,419
浦和民主診療所	542,640	1,357	4,273
川口診療所	1,234,880	3,087	9,725
さいわい診療所	1,909,920	4,775	15,041
おおみや診療所	742,000	1,855	5,843
かすかべ生協診療所	410,900	1,027	3,236
所沢診療所	1,057,640	2,644	8,329
大井協同診療所	547,640	1,370	4,315
上福岡協同診療所	198,640	495	1,561
行田協立診療所	1,680,320	4,201	13,233
生協歯科診療所	583,120	1,458	4,592
本部事務局	113,720	284	896
老人保健施設さんとも	490,480	1,226	3,863
介護事業所	89,280	223	703
合 計	22,491,780	56,229	177,123



ながとろケアステーションでは、事務所の玄関に収集箱を設置し、継続的にエコキャップの収集をしていて、まともと秩父生協病院にもっていきます。この活動も長くなり、賛同して頂いた利用者さんから定期的にヘルパーが預かってくるようになりました。

ケアセンターきょうどうでは、エコキャップの収集はこれまでエネルギー棟内で一緒に集めていたのですが、今年は環境委員が中心になり、事業所内の収集量を把握し、表にまとめエコ効果を職員会議で報告しました。家庭で集めた分も持ち寄るなど、意識が高まっています。

(4) 環境負荷を軽減する活動の促進

① 「環境負荷を軽減する活動促進」概要

2011 年度は、「業務改善・工夫による資源（医療材料）の抑制」と「環境負荷の少ない製品の積極的選択」を目標に取り組みを進めてきました。

具体的には、「環境負荷軽減活動規程」に基づき、下表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。

環境目標	運用と活動	運用基準
業務改善・工夫による資源（医療材料）の抑制	業務改善・工夫による資源（医療材料）抑制手順の研究	・業務手順の改善による推進
環境負荷の少ない製品の積極的選択	医療・衛生材料の対象品研究と採用	・調査研究と採用品の決定
	その他の対象品の採用拡大	・採用品目を増やす

② 取り組み事例

各事業所では、「環境負荷を軽減する活動促進」について、いろいろなアイデアを出し合って、取り組んできました。以下は、その事例です。

・「ケアセンターさきたま 褥瘡ケア用の材料を自作しました」

訪問している方の中で褥瘡ケアをしている人は多いが、病院では容易に手に入る必要な薬剤やドレッシング材が在宅では入手困難なことが多い為、あるもので・・・と検討し穴あきポリパットドレッシングを作成しました。

- オムツ用パット（ハサミでカットする）※亡くなったご利用者様宅から頂いたもの
- 穴あきポリエチレン（100 円ショップで購入・パットを包みセロテープで止める）
- ビニール絆創膏（切り口をテーピングする）

コストを気にせず何度でも処置でき、家族の方でも処置が簡単です。
きちんと洗浄してきちんと固定すれば、みるみる創は良くなっていくので、やりがいにもつながっていく、画期的なケアです。



・「埼玉西協同病院 フィルムをまとめて入れる封筒をなくして資源の節約」



埼玉西協同病院では、2011 年 1 月 1 日から、フィルムをまとめて入れる封筒をなくしました。

前年まで、毎年 10,000 枚使用していた封筒を、本年から使用していないので、資源の節約になって、環境負荷を軽減しているものと思われます。

また、この件に伴って、職員のフィルム整理の時間等も減少しています。

・「おおみやケアセンター ホチキスの芯の不要なタイプに切り替えました」

おおみやケアセンターの事務部門は、ホチキスを芯の不要なタイプに切り替えました。

芯のゴミがでない！紙のゴミもでません。4 枚ぐらいまでは 1 箇所、それ以上の資料の場合は 2 箇所以上に止めるときちゃんと止まります。

ホチキスの芯の経費も削減できていますので他の部門にも広めています。



(5) 環境に配慮したまちづくりに参加する

① 「環境に配慮したまちづくりに参加する」概要

2011年度は、「NO₂の測定を広げるなど、組合員と協同して、健康にくらせる環境づくりに取り組む」、「周辺の環境整備や緑化の推進に取り組む」、「エコキャップ、マイカップ運動などエコ活動を普及する」ことを目標に活動を進めてきました。

具体的には、「環境に配慮したまちづくりに参加する活動規程」に基づき、下表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。

環境目標	運用と活動	運用基準
NO ₂ の測定を広げるなど、組合員と共に健康にくらせる環境づくりに取り組みます	NO ₂ の測定を広げる	・計画的に NO ₂ の測定者を広げていく
	環境をテーマとしたイベント開催（地区毎）	・各種行事や健康まつり等において、環境に関わるイベントの実施
	環境に関する学習、啓蒙活動の推進	・各事業所は環境に関する学習会を年1回以上開催
周辺の環境整備や緑化の推進に取り組めます	植栽や観葉植物の設置	・設置場所の決定と、担当者配置などの措置 ・事業所周辺の環境保全と緑化に役立つ計画を立てて、実行
	自治体、地域の環境に関する事業、企画に積極的に参加する	・関連する自治体、地域の環境に関する事業、企画に積極的に参加する
エコキャップ、マイカップ運動などエコ活動を普及します	エコキャップ運動を全事業所で推進する	・全事業所でエコキャップ運動を進め、昨年以上収集する
	マイカップ、マイ箸、マイバックにも取り組む	・マイカップ、マイ箸、マイバックに取り組む職員、組合員を増やす

② 取り組み事例

各事業所では、「環境に配慮したまちづくりに参加する」活動について、いろいろなアイデアを出し合って、取り組んできました。以下は、その事例です。

・「浦和民主診療所 チームグリーンカーテンが発足しました」



浦和民主診療所では、夏の節電計画の一環として、チームグリーンカーテンが発足しました。肥田所長をチームリーダーに、最高顧問は職員OBの金子さん、職員有志9人が集まりました。

6月17日には第1回チーム会議が開催され、今後の活動計画を話し合いました。6/18（土）には林理事も参加し、苗の植え付けやネット張りを行いました。日曜日の水遣りをメンバー交替で行うほか、ゴーヤの収穫祭なども計画しています。

緑の成長は目覚しく、屋上は早くも癒しのスペースとなっています。

・「生協ながとろケアステーション 地域の“ゴミゼロの日”に参加しました」

5月の最終日曜日29日は、事務所のある野上地区恒例の“ごみゼロの日”でした。

雨模様の天気でしたが順延せずに決行され、傘や合羽での参加となりました。

当事業所からも職員が3名参加し、地域の方々と一緒に1時間程ゴミ拾いや植え込みの草むしりを行いました。



・「本部事務局 第2回目のふれあい会館周辺の清掃活動を実施しました」

8月31日〈水〉15時30分～16時30分に本部ISO14001の企画として、本部MS事務局・エコリーダー会議の提唱で、今年度第2回目の清掃活動となる、ふれあい会館周辺のゴミ拾いと雑草抜きを行ないました。



各部から21名が参加し、軍手や紙挟みで、ふれあい会館周辺のごみ拾いや花壇の草抜きをしていきました。その結果、1時間弱の行動で、ゴミ袋15袋以上が一杯になりました。

当日は、曇りの天気で、そんなに暑くもなく、多くの参加で手分けしてやり、とても良い活動になったと思います。

・「生協ちちぶケアステーション 緑のカーテンで秩父市から表彰されました」

生協ちちぶケアステーションでは、環境フェスタちちぶ2011「自慢の緑のカーテンの部」で「優良賞」を受賞しました！！

10月19日 秩父市から賞状と記念品いただきました。

なんと副賞は・・・ジョーロ みんなで水やりができてます！！

「あさがお」「にがうり」「風船かずら」の種をたくさん収穫しています。

大きなプランターも準備して来年ももっと大きなカーテンを作りたいと思っています。

8月の電気使用量は昨年比で「減」 エコしています！！



・「あさか虹の歯科 ゴーヤのグリーンカーテンを作りました」

あさか虹の歯科では、夏の電気需要が伸びる時期をどう過ごすかということで、まず学習会を実施しました。全県のISO事務局会議で報告された協同病院の学習会資料を抜粋し、ピーク時対策・熱中症予防が第一・ブラインドの開度は45度、扇風機の活用など、診療所での取り組みを話していました。



また、節電キャンペーンの取り組みの一つとして、ゴーヤのグリーンカーテンを作ることになりました。組合員さんの協力を得て、買い物、植え付け、ネット張りを行ない、西側だけでなく、東側と南側にも植える事にしました。水やり、雑草とりなど組合員の協力を得て、特に西側待合室は、グリーンカーテンが強い西日を柔らかにさえぎり、患者さんとの会話も弾み、ゴーヤの収穫もできました。

節電効果も上がり、電力は昨年比で74%（上半期累計）に押さえる事が出来ました。来年も取り組んでいきたいと考えています。

「二酸化窒素の測定」実施 ～組合員との協同で環境守る活動推進

「埼玉の空をきれいにする会」に加盟する「埼玉県生活協同組合連合会」の一員として、医療生協さいたまも毎年6月と12月の年2回二酸化窒素濃度測定に取り組んでいます。測定数を昨年同月と比較すると、6月は68.9%、12月は74.0%と共に減少しています。



<2011年二酸化窒素測定の結果>

6月測定は測定登録箇所のうち、881ヶ所での測定結果を分析し、単純平均は32.6ppbになりました。昨年同期（2010年6月）の平均は19.9ppbだったので、昨年よりは高い数値になりました。

また、12月測定は測定登録箇所のうち、828ヶ所での測定結果を分析し、単純平均は21ppbになりました。昨年同期（2010年12月）の平均は35.6ppbだったので、昨年よりは低い数値になりました。

二酸化窒素の環境基準（1978年に基準改定）			6月測定数		12月測定数	
・60ppb(0.06ppm)超	…環境基準を超える	(かなり汚れている)	17	2%	2	0%
・40ppb超 60ppb未満	…ゾーン基準内	(汚れている)	186	21%	17	2%
・20ppb超 40ppb未満	…基準以下	(まあまあ)	609	69%	404	49%
・20ppb以下	…旧基準内	(きれい)	69	8%	405	49%
			881		828	

◆ppm（パーツパーミリオン）

100万分の1を表す単位で、大気汚染の汚染物質の濃度を表す単位として使われます。例えば、大気中二酸化窒素1ppmとは、1立方mの大気中に1立方cmの二酸化窒素が含まれていることになります。

◆ppb（パーツパービリオン）

10億分の1を表す単位で、1ppmは1ppbの1000倍にあたります。

1ppb=0.001ppm=10億分の1=0.0000001%



<2011年12月二酸化窒素測定値ワースト10>

順	ppb	市町村	院所	支部	測定地点住所
1	60	新座市	あさか	新座	東1丁目志木街道通り
1	60	新座市	あさか	新座	東北2-30
3	52	春日部市	かすかべ	庄和	米島158-7 県道松伏線
4	50	川口市	協同	安行	草加 外環交差点外
4	50	川口市	協同	安行	草加 外環交差点内
6	49	さいたま市岩槻区	かすかべ	岩槻東	東岩槻6丁目
7	46	春日部市	かすかべ	庄和	西今野井16号交差点4畠側
7	46	さいたま市北区	おおみや	宮原	日清2-167 自宅前車少ない
9	44	上尾市	おおみや	上尾東	市役所第2駐車場
9	44	さいたま市北区	おおみや	宮原	大宮バイパス国道事務所

(6) もっとも愚かな環境破壊である戦争につながる行為に 反対し、平和を守る

① 「もっとも愚かな環境破壊である戦争につながる行為に反対し、平和を守る」の概要

2011年度は、「組合員と共に、『憲法9条』を大切にしたい平和活動を広げる」ことを目標に進めてきました。

具体的には、「戦争につながる行為に反対し平和を守る活動規程」に基づき、下表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。

環境目標	運用と活動	運用基準
組合員と共に、「憲法9条」を大切にしたい平和活動を広げる	平和をテーマとした学習会等の開催	・各事業所で年1回以上計画し、実行する
	戦争に反対し、平和を守る活動に取り組む	・各事業所の特色や部門の特色を生かして取り組む

② 取り組み事例

各事業所では、「戦争につながる行為に反対し平和を守る活動規程」に基づき、いろいろな工夫をして取り組んでいましたが、以下は、その事例です。

・「大井協同診療所 平和夏祭りを開催しました」

8月27日に原水禁世界大会参加者報告集会和盆踊り大会を兼ねた『平和夏まつり』を開催しました。今回は、大会参加者報告のあと各支部社保委員長による寸劇風原発ミニ学習を行いました。



まつり自体は3回目の開催ですが、報告集会には60名、盆踊りには200名をこえる参加があり、平和について、原発の問題についてみんなで考える場とすることができました。

・「生協ちちぶケアステーション 平和を祈りながら鶴を折り、長崎へ」



7月お昼休みを利用して職員で「折り鶴」を折りはじめました。

家に持ち帰り家族で折ったり、全員で頑張りました。

8月2日、50羽ずつつなげてみると992羽、不足の鶴を折り、千羽鶴が完成！！

長崎へ「平和を祈りながら」送りました。

・「本部 平和学習会を開催し、核兵器廃絶について学ぶ」

8月30日(火)14時～15時に、本部MS事務局・エコリーダー会議が主催して、ふれあい会館第3会議室で、2011年度第1回平和学習会を開催しました。

テーマは、「核兵器廃絶に向けて」ということで、パワーポイント、プロジェクターを使って、まず、原水爆禁止世界大会(於：長崎)の参加報告をMさんにしてもらいました。続いて、核兵器の廃絶について、歴史的、科学的に学びました。本部職員11名(医師部3名、総務部3名、医療事業部3名、けんこう文化部2名)が参加し、核兵器の廃絶について考え、良い学習会になったと思われま



(7) 原発ゼロを求める活動をすすめます

① 「原発ゼロを求める活動をすすめます」の概要

2011 年度は、法人の環境方針へ「原発ゼロを目指す企画に取り組み、原発ゼロ署名を広げる」ことを追加し、この目標を進めてきました。

具体的には、下表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。

環境目標	運用と活動	運用基準
原発ゼロを目指す企画に取り組み、原発ゼロ署名を広げる	原発ゼロをテーマとした学習会等の開催	・各事業所で年 1 回以上計画し、実行する
	原発ゼロ署名に取り組む	・各事業所の特色や部門の特色を生かして取り組む

② 取り組み事例

各事業所では、「原発ゼロを目指す企画に取り組み、原発ゼロ署名を広げる」方針に基づき、いろいろな工夫をして取り組んできましたが、以下は、その事例です。

・「ケアステーションかしの木 原発学習会を開催しました」

9 月 22 日午後 4 時半から 1 時間、職場内の社保環境委員会主催で「原発問題学習パンフ」をもとに委員会メンバー 4 人が講師となり、14 名の参加で、①放射線が人体に及ぼす影響を知る、②周辺地域の住民の方の不安や恐怖に横たわるものをつかむ、③今回の事故の問題点と今後の対応のあり方を考えるの 3 点のポイント学習をおこない、脱原発署名の推進の行動提起を行いました。



ひとたび原発事故が起されば、多くの人々に健康被害が及び、また生活そのものが根こそぎ奪われ、そして自治体まるごと避難しなければならないことを知りました。野田首相は、経済界からの圧力もあり来年夏までに現在止まっている原発再稼働するとの発言をしています。私達一人ひとりにいのちと暮らしを守っていく活動の大切さを考える機会となりました。

・「本部事務局 なくせ原発！10/30 大集会 in ふくしまに 43 名が参加しました」

10 月 30 日（日）、さいたまから大型バスで 43 名（組合員 34 名、職員 9 名）が福島市渡利の会場に向かいました。会場には、全国から 1 万人を超える参加者が集まり、集会では浪江町や飯館村長、前福島県知事の挨拶がありました。全日本民医連長瀬事務局長も壇上に立つなど、各団体から激励と今後の運動について話がされました。福島の子供達から「外で遊びたい」「親戚が来てくれない」等胸を打つ叫びもあり、会場から「頑張れ！」等声援があがりました。

その後、会場周辺をパレードし、原発廃止の意思統一を行ないました。

帰路では、大渋滞に巻き込まれましたが、参加者は改めて「原発ゼロ」に向けた運動を早急に展開することを胸に解散しました。



・「本部事務局 健康フェスタで放射線量測定マップを展示しました」



11 月 5 日、6 日、さいたまスーパーアリーナとけやきひろばで 4 団体（医療生協さいたま・さいたまコープ・埼玉県国際交流協会・埼玉県物産観光協会）で復興支援を共通テーマにイベントを行い、2 日間で 10 万人の来場者がありました。医療生協さいたまでは「健康フェスタ」を開催し、その中でこの間の放射線量測定運動で完成したマップの展示を行いました。そのブースでは、子ども連れの若い家族や家庭菜園をされている方など、たくさんの方が真剣に見入っていました。

☆埼玉県の放射能測定運動とその結果

医療生協さいたま震災対策本部は、組合員の不安に応え、埼玉県の放射線量測定運動に取り組み、実態をもとに自治体に対しモニタリングを行う場所の増加、自治体による精密放射能測定器での再検査、情報の速やかな公開などを求めたいと考えています。その主旨に基づいて以下のように放射能測定運動を実施（1,577ヶ所）しました。

＜測定期間＞ 2011年8月1日から10月31日の3ヶ月間の1回のみ

＜測定方法＞① 事業所をはじめ保健委員会や支部を中心に、班やサークル等とも協力しながら地域の測定を行う。

② 測定場所は、保健委員会や支部で検討し、不安に感じる場所をできれば10ヶ所程度設定する。

人の集まるところや放射線の感受性が大人より高いといわれている子どもが集まる学校、保育園、公園などもできるだけ選択する。自治会などに呼びかけ、測定場所と一緒に相談しながら実施することも積極的に検討する。

③ 地表5cm、50cm、1Mの各ポイントでの放射線量を測定する。

④ 取り扱い説明書に基づき実施する。

事業所地区名	項目	測定結果 (uSv/h)			事業所地区名	項目	測定結果 (uSv/h)		
		5cm	50cm	1m			5cm	50cm	1m
埼玉協同病院西地区 120ヶ所	平均	0.11	0.11	0.10	かすかべ生協診療所地区 149ヶ所	平均	0.12	0.11	0.10
	最大	0.42	0.17	0.88		最大	0.71	0.19	0.15
	最小	0.08	0.05	0.08		最小	0.08	0.08	0.08
埼玉協同病院東地区 106ヶ所	平均	0.11	0.11	0.10	所沢診療所地区 62ヶ所	平均	0.11	0.10	0.10
	最大	0.19	0.19	0.15		最大	0.15	0.13	0.13
	最小	0.08	0.08	0.08		最小	0.08	0.09	0.08
埼玉西協同病院地区 87ヶ所	平均	0.11	0.11	0.10	大井協同診療所地区 41ヶ所	平均	0.10	0.10	0.10
	最大	0.16	0.14	0.14		最大	0.13	0.12	0.14
	最小	0.08	0.08	0.08		最小	0.08	0.09	0.09
熊谷生協病院地区 218ヶ所	平均	0.11	0.10	0.10	上福岡協同診療所地区 50ヶ所	平均	0.14	0.12	0.11
	最大	0.16	0.17	0.14		最大	0.43	0.30	0.17
	最小	0.01	0.01	0.08		最小	0.09	0.08	0.08
秩父生協病院地区 112ヶ所	平均	0.11	0.11	0.10	行田協立診療所地区 50ヶ所	平均	0.12	0.11	0.11
	最大	0.57	0.21	0.15		最大	0.27	0.29	0.16
	最小	0.08	0.09	0.08		最小	0.09	0.09	0.09
浦和民主診療所地区 69ヶ所	平均	0.11	0.10	0.10	生協歯科診療所地区 19ヶ所	平均	0.10	0.10	0.10
	最大	0.56	0.13	0.11		最大	0.12	0.13	0.13
	最小	0.08	0.08	0.02		最小	0.09	0.08	0.06
川口診療所地区 77ヶ所	平均	0.11	0.10	0.10	あさか虹の歯科地区 50ヶ所	平均	0.10	0.10	0.10
	最大	0.14	0.17	0.13		最大	0.13	0.13	0.15
	最小	0.09	0.08	0.08		最小	0.08	0.07	0.08
さいわい診療所地区 24ヶ所	平均	0.11	0.11	0.11	さんとめ地区 26ヶ所	平均	0.13	-	0.10
	最大	0.14	0.14	0.13		最大	0.68	-	0.14
	最小	0.09	0.09	0.09		最小	0.06	-	0.08
おおみや診療所地区 205ヶ所	平均	0.11	0.10	0.10	みぬま地区 112ヶ所	平均	0.15	0.12	0.11
	最大	0.51	0.20	0.15		最大	0.82	0.27	0.21
	最小	0.08	0.08	0.05		最小	0.08	0.02	0.05



医療生協さいたま 2011年度

環境報告書

発行：2012年9月1日

発行者：医療生協さいたま生活協同組合

〒333-0831

埼玉県川口市木曽呂 1317

TEL (048-294-6111)

編集：医療生協さいたまマネジメントシステム委員会